

# ふるさと上越ネットワーク会報

NO.25 2008.7



# 巻頭言

上越市企画・  
地域振興部長

## 竹田淳二

日々緑が色濃く目にまぶしい季節となつてまいりました。全国のふるさと上越ネットワーク（Jネット）の会員の皆さん、はじめまして。本年四月一日の異動で企画・地域振興部長に就任した、竹田と申します。巻頭にあたり、ひと言、挨拶申し上げます。

ご案内のとおり、Jネットは、合併前の上越市や旧十三町村の出身者をはじめ、何らかの形で上越市との関わりがある方、上越市に縁やゆかりを感じていらっしゃる方々から成る会で、平成九年七月に発足し、この七月で設立十一年を迎えると聞いております。この間、途絶えることなく、ふるさと上越市の応援団として、声援、ご支援をいただいておりますこと、心から感謝を申し上げます。

さて、Jネットの毎年度最初の行事と

言えは春のふるさと交流会ですが、私も、

この四月に開催された交流会の観桜会に参加させていただきました。当日はあいにくの雨模様で、高田公園の芝生広場にある「Jネットの桜」の下でのお花見とは相成らず、岩間花店さんのご厚意により、お店のお座敷をお借りしての開催となりました。屋内での観桜会となったものの、窓外にほほ満開となった桜をお堀越しに眺めながら、思い出話に花を咲かせ、ふるさとの料理を味わい、参加された方々には大いに楽しんでいただけたのではないかと思っております。

その交流会に参加された方のお一人が、「全国各地の桜を見て回ったことがあるけれど、高田公園の桜は、お堀に映ったたずまいが他と比べようもなく美しい、また、近景に桜を見て遠景に妙高山や南葉山を望んだとき、なんとも言えない懐かしさがこみ上げる」とおっしゃって

たのが、とても印象に残っています。

このように、かつて上越市で暮らし、今ふるさとを遠く離れて暮らす方が目にする桜と日々上越で暮らす私たちが目にする桜とは、同じ桜でありながら、桜に寄せる思いといえますか、桜に触発される思いは自ずと異なっていると思えます。

同じことが、上越市そのものについても言えるのではないのでしょうか。

上越市では、昨年NHK大河ドラマ『風林火山』を契機として上杉謙信公ゆかりの地であることをPRしたことに引き続き、本年も郷土ゆかりの直江兼統公を主人公とした『天地人』が決定したことや、トキめき新潟国体の開催を来年に控え、競技別リハール大会もいよいよ七月から始まるなど、全国的に注目を集める機会を得ています。

また、上越市の大型プロジェクトについても、北陸新幹線の飯山トンネルと松ノ木トンネルが開通し高架も除々に姿を現してきましたし、上越火力発電所一号系列の工事も着工されました。

市では、これらの機会やプロジェクトを大いに活用し、上越市を広くアピールして当市の価値や知名度を高め、交流人口の拡大を図っていきたくと考えております。Jネット会員の皆さんと市民とで

は、同じ桜に対する感慨が異なるように、上越市そのものの魅力や潜在力のとらえ方も、違っていると思えますので、引き続き、私たちが気がつかない上越市の個性（長所・短所とも）やまちづくりについて、これからは是非ご意見をいただき、市民を「ハッ」とさせていたいただきたいと願っております。また、これまで同様上越市の応援団として、ふるさとをPRしただければ幸いです。

そして、何よりも、会員の皆さんにはふるさと上越への深い思いをこれからも変わらずに抱き続け、特別なことがなくても、ふと思いついたら、上越の景色やおいしいものに会いにお越しください、と思っております。



# 平成二十年度 総会報告

五月二十四日(土)、アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区九段)で五十名を超える参加を得て平成二十年度「ふるさと上越ネットワーク」総会が開催されました。

小坂恵美さん司会のもと、和久井会長の挨拶に続き、木浦上越市長から「知名度向上と交流人口の拡大に向けた取組みについて」と題する市



司会の小坂恵美運営委員

政報告を頂きました。一〇ページに一部を紹介しております。

規定により会長が議長を勤め、平成十九年度の事業報告と決算報告、平成二十年度の事業計画と予算、役員の改正の五議案が審議され、いずれも承認されました。

## 度ふるさと上越ネ



和久井会長の挨拶



水嶋監事の監査報告



木浦市長の市政報告

# 議事と事業内容

## ◇議事（五議案承認されました）

- 第一号議案 平成十九年度事業報告
- 第二号議案 平成十九年度決算報告
- 第三号議案 平成二十年度事業計画
- 第四号議案 平成二十年度予算
- 第五号議案 役員の改選

## 理事

安田浩→嶋津茂晴  
（上越青年会議所理事長）

## 監事

水嶋晃→安島和夫

## ◇平成二十年度事業計画内容

### 一 会員募集事業（目標会員数七〇〇人）

- (一) 新規会員の募集
- ・各区域人会等への働きかけ（Jネット）

### ト開催事業への参加案内

- ・役員 運営委員などによる定期的な勧誘活動の実施
- ・高校同窓会への勧誘活動（総会時のチラシ配布や同窓会名簿への広告掲載）

- ・上越市内の大学卒業者にチラシを配布
- ・地元上越市内で会員募集（会員とふるさととの交流を盛んにするため）

- (二) 十九年度会員の継続加入の推進と元会員への再入会依頼

### 二 広報事業（上越市の紹介）

- (一) ふるさとからの便りを会員宛に毎月一回送付

- ・「広報しようえつ」（二日号、十五日号）

- ・広報の送付を希望しない会員には送付せず（二月のたよりで案内済）

- ・上越市やJネットの情報を提供する「たより」の発行

- ・会員の近況を紹介する「お元気ですか」の発行

- ・イベント情報チラシ、特別賛助会員からのお知らせなど送付

- (二) 「Jネット会報」の発行：年二回発行（七月、十二月）

- (三) 「ふるさとカレンダー」（二〇〇九年版）の発行：十一月

- (四) ホームページ等

- ・ホームページに総会やふるさと市場などの情報を掲載。随時更新
- ・テレビ放映など上越市の情報を電子メールで提供（会員のアドレス収集）

### 三 交流事業を実施

- (一) ふるさと交流会の開催

- ・春の交流会
- ・二十年四月十日（木）～十一日（金）

- ・高田公園（いわせき花店）で観校会
- ・柿崎区（柿崎川ダム、楞嚴寺、代々菊園造）

- ・頸城区（坂口記念館、瀧本邸、コッペル号、樹下美術館）を視察。三十人が参加

- ・秋に上越市内で交流会を開催予定

- (二) Jネットサロンの開催

- ・名古屋サロンと近畿地区サロン（大

- 阪市）を開催予定。日時や会場は未定

- ・参加者一人あたり千円をJネットが助成

- ・東京地区は毎月開催（第二水曜日に東京の運営委員会事務局で開催）

- (三) 勉強会の開催

- ・宇宙航空研究開発機構（JAXA）見学（茨城県つくば市）開催日四月十九日（土）

- ・古代運の里見学（埼玉県行田市）開催日七月二十日（日）
- ・年三回程程度、上越市にゆかりのある施設等を見学

### 四 総会等開催事業

- (一) 総会

- ①開催日 二十年五月二十四日（土）
- ②会場 アルカディア市ヶ谷
- ③内容 十九年度事業・決算報告、二十年度事業計画・予算等の協議、懇親会

- (二) 理事会の開催

- ①第一回 二十年五月二十四日（土）、会場 アルカディア市ヶ谷

- ・二十年度総会議案審議ほか

- ②第二回 二十一年一月に開催予定

- ・二十年度事業中間報告、二十一年度事業計画案ほか
- (三) 運営委員会の開催：毎月

①開催日 原則毎月第二水曜日

②会場 運営委員会事務局（株式会社  
社社会システム研究所内）

③出席者 運営委員（十二人）

④内容 個別事業計画の内容検討や事業執行への協力ほか

## 五 ふるさとのまちづくり支援

(一) ふるさと市場事業の実施

・米を中心とした通信販売

(二) 上越市への協力

①専門員として協力

職名	職員名
行革推進専門員	松川太賀雄 副会長
直江津港振興推進員	井出 高吉 理事

②各種委員会の委員として協力

委員会名	委員名
上越市食料・農業・農村政策審議会	和久井 博 会長
	藤田 香代 運営委員

(三) 文化講演会の開催

・第二回理事会開催時

(四) ふるさと越後大使事業

・ふるさとPR用の名刺作成と配付

(五) 上越タイムス社との協力

・ふるさとを離れて暮らす会員の投稿をタイムス紙上で市民に紹介。相互の交流を盛んにする。

# Jネットの会員募集チラシができました！

友人知人に配布してください。また、同窓会などでも配布をお願いします。  
(申し込みは事務局まで)



# 平成20年度 ふるさと上越ネットワーク予算

## ■収入

単位：円

科目	平成19年度 決算額 (A)	平成20年度 予算額 (B)	差引増減 (B-A)	内 訳
会費	2,219,700	2,215,000	△ 4,700	・個人会員(3,000円) 1,335,000 ・個人会員(2,900円ほか) 630,000 ・賛助会員 250,000
負担金	1,028,000	1,238,000	210,000	・総会参加者 250,000 ・文化講演会参加者 300,000 ・春のふるさと交流会参加者 313,000 ・秋のふるさと交流会参加者 360,000 ・ふるさと越後大使 15,000
交付金	4,000,000	3,500,000	△ 500,000	・市交付金
通信販売割戻金	103,757	110,000	6,243	
繰越金	1,006,239	1,575,180	568,941	
雑入	177,691	52,000	△ 125,691	・預金利子 2,000 ・ふるさとカレンダー 50,000
合計	8,535,387	8,690,180	154,793	

## ■支出

単位：円

科目	平成19年度 決算額 (A)	平成20年度 予算額 (B)	差引増減 (B-A)	内 訳
広報事業	2,977,704	3,597,000	619,296	
会員募集事業	229,913	357,000	127,087	・会員募集チラシ、広告 250,000 ・通信運搬費 48,000 ・会員証印刷代 59,000
広報事業	2,747,791	3,240,000	492,209	・市広報購入費 322,000 ・会報作成(年2回) 900,000 ・ふるさとカレンダー印刷 500,000 ・定期郵便物配送料 1,260,000 ・封筒他印刷 208,000 ・消耗品・振込手数料ほか 50,000
交流事業	821,738	1,353,455	531,717	・春のふるさと交流会 358,455 ・秋のふるさと交流会 473,000 ・地方サロン開催補助等 422,000 ・勉強会 100,000
ふるさと支援事業	914,974	1,231,000	316,026	・講演会事業 938,000 ・ふるさと大使事業 32,000 ・通信販売送料 224,000 ・消耗品・通信運搬費ほか 37,000
総会開催事業	982,126	1,013,000	30,874	・理事会 40,000 ・総会 121,000 ・懇親会 852,000
事務費	1,263,665	1,495,725	232,060	・運営委員会事務局費 960,000 ・運営委員交通費助成 322,000 ・会費等払込手数料、消耗品費ほか 213,725
次期繰越金	1,575,180	0	△ 1,575,180	
合計	8,535,387	8,690,180	154,793	

# アトラクシヨン・懇親会

総会後、神戸市出身の女性演歌歌手・瀬口侑希（せぐち・ゆうき）さんが懐かしい歌を披露しました。瀬口さんは二〇〇〇年「ねぶた」で日本クラウンからデビュー、二〇〇六年に村上市出身の演歌歌手・村上幸子（故人）の「不如帰」をカバーしている。今年発売のシングル「幸せになつてね」があります。

私達、視聴者の年代に合わせた美空ひばりさんのナツメロ、舟歌などを披露してくれました。水川きよしさんとはクラウン同期生だそうです。

これからの一層の活躍を期待しております。皆さんも応援して下さい。

続いて開催した懇親会に瀬口さんも参加し、ふる里の味を堪能していました。

この席で、早川美津江さん（旧春日村藤巻出身）の東京サロン参加連統一〇〇

回に対して、木浦市長より記念品が贈呈されました。早川さんおめでとうございます。これからも健康に注意して「ネット」の行事に参加ください。

## 利き酒のお酒銘柄

・浦川原区 新潟第一酒造の越の白鳥（はくちょう）特別本醸造高嶺（たかね）

## 錦

・柿崎区 頸城酒造の 越路の紅梅 吟

## 醸

・吉川杜氏の里の 天恵菜（てんけいらく）

## く

・妙高酒造の 越の雪月花（せつげつか）

純米大吟醸

・雪中梅

## 用意した上越の食材等

岩の原ワイン、茄子付け、かまぼこ、塩スルメ、謙信汁 等など

## 利き酒コンテスト景品

食の工房ネットワークの「本醸造こいちしょうゆ」と「越後米こうじ味噌」のセット

## 参加者全員の抽選景品

- ・大吟醸 能鷹 一名様
- ・雪中梅入り酒ケーキ 一名様
- ・スキー正宗 特別本醸造 二名様
- ・塩羊羹 三名様
- ・継続だんご 三名様

## 参加賞お土産

食の工房ネットワークの「きやらぶき」とみょうがしそ酢の漬物セット」



瀬口侑希さん



早川さんに記念品贈呈





神原相談役



松川副会長



尾崎副会長の乾杯



木浦市長



# 知名度向上と交流人口の拡大 に向けた取組み

(総会での木浦上越市長の説明資料より)

## 一 上越市のまちづくり

〇いにしえより当地域は、交通の要衝として栄え、上杉謙信公の時代には京都に次ぐ人口六万人を有し、京阪地域と交流していた。

〇上杉謙信公は、「敵に塩を送る」という故事が示すように「義」に厚く私利私欲の戦いを行わなかった武将。謙信公の教えを受けた直江兼続公も、「義」と「仁愛」の精神を貫き、戦国の乱世を生き抜いた武将である。

〇心の世紀といわれる二十一世紀の時代にこそ必要とされる謙信公の「義」の心、兼続公の「愛」の心が、この地に住む私たちにも遺伝子として脈々と受け継がれている。

## 二 上越市を取り巻く状況

〇この地に宿る、人や地域を思いやる「義」や「愛」の心を観光振興のみならず、福祉や教育、さらには当市のまちづくりまで拡げていきたい。

(1) 全国からの注目度  
平成十九年の親鸞聖人上陸八〇〇年、二十一年のトキめき新潟国体、さらには、直江兼続公を描くNHK大河ドラマ「天地人」の放送や近隣の長野市では善光寺の御開帳が開催されるほか、今後、日本スキー発祥一〇〇周年、北陸新幹線の開業など、当市が全国に注目される機会が加速度的に訪れる。

・二〇〇九年新潟県大観光交流年事業  
・トキめき新潟国体(平成二十一年)

・NHK大河ドラマ「天地人」の放送(平成二十一年)

・親鸞聖人没後七五〇年(平成二十三年)  
・日本スキー発祥一〇〇周年(平成二十三年)

・北陸新幹線開業(平成二十六年)  
・高田開府四〇〇周年(平成二十六年)  
・市町村合併十周年(平成二十七年)

## (2) 激化する都市間競争

・平成二十六年度末の北陸新幹線の開業  
↓ 交流人口の拡大が、ストローク現象か、新幹線開業はまさに諸刃の剣。



として重要視されてきた都市。現在、重要港湾直江津港や高速道路を有するなど引き続き交通の要衝として、首都圏に最も近い日本海側の都市である。

〇上越人は、勤勉・実直・粘り強いという気質を有しており、優秀な人材が豊富である。現に多くの上越人が経済界で活躍している。

〇都市間競争に埋没しないよう、各界の皆様にご協力をいただきながら当市の魅力を余すことなく内外に強力に情報発信するとともに、当市や当市の産品等を①知って、②買って、③訪れていただき、その継続によって上越市が繰り返し選ばれる地域となることで、当市の知名度の向上と交流人口の拡大を図るとともに、自主財源の獲得や地域の活性化を図る。

## 四 当市の戦術

〇産業関係者やマスコミ、各種エージェントを対象に企業誘致、ポータルセールス、観光、米や酒等の特産品販売などを二元的にPRし、シティセールス招へいツアー、広告掲載等

〇自然資源や歴史・文化資源、食資源を

〇当市は豊かな自然や歴史・文化が薫るまちであり、いにしえより交通の要衝

## 三 当市の戦略

活用したPRフィルムコミッション等

○広域連携によるPR集客プロモーションパートナー都市協定

## 五 更なる取組みについて

○都市イメージの向上と産品のブランド化

これまでに五回の上越市ブランド戦略会議を開催し、「雪月花の城下町、上越、美しい四季の雪が舞うまち」をキャッチフレーズに、「雪」を中核イメージとした上越市ブランド戦略を策定した。今後、市民や事業者と協働で、「雪」をキーワードとした商品開発やサービスの提供を始め、市内外への積極的な情報発信に取り組む。知名度の向上を更に図るため、シティーセルスを継続する。

## 六 皆様に期待すること

○都市の知名度の向上への協力

当市の情報発信能力を飛躍的に高めるためにも、一人より二人、二人より三人と、上越市のセールスマンとして、当市の魅力を内外にPRしてほしい。

○交流人口の拡大への協力

各種イベントに積極的に参加してほしい。

様々なイベントなどを当市で開催できるように、取り組んでほしい。

## 七 取組事例

○シティーセルスへ上越市の魅力を発信する取組みを強化し、知名度の向上等を目指す

○フィルムコミッション

○地域の景観等の資源を活用し、映画等のロケを誘致することで、知名度の向上や地域経済の活性化を図る。

・平成十八年三月九日「上越フィルム・コミッション」を設立。



映画「絆」製作記者発表会

・同年三月十四日から四月七日にかけて映画「ふみ子の海」を撮影し、主人公ふみ子の師匠役を演じた高橋恵子さんが、日本映画批評家大賞助演女優賞及び第六十二回毎日映画コンクールの女優助演賞を受賞。

・映画「絆」が平成十九年四月から五月にかけてロケを実施。十一月二十七日から十二月十五日まで市内で上映された。  
・NHK大河ドラマ「天地人」の撮影についても当フィルム・コミッションで支援していく。

○各種地域資源を活用した取組み

○食文化資源

☆特産品を使った取組み

【お米】

十九年度の上越産米の品質については農家の皆様の努力もあり、一等米比率が九四％と県内でトップクラスであり、整粒歩合や食味に最も関連があるタンパク質含有量等の数値についても魚沼産米と遜色のない数値となっている。しかも毎年安定して高品質であることから全国の卸業者からの引き合いは年々強まっており、これら上越産米の強みを生かし販売促進活動を積極的に実施している。

①上越米販売促進トップセールス

近年、全国的な米消費の減退と安価で

美味しい他産地米の台頭により、上越米を含む新潟コシヒカリの販売不振が顕著化している。この状況を打開し、上越米の全量を有利に販売するために、上越地域で生産される米の約七割を集荷するJ A えちご上越とともに、関東・中京・関西の大手卸業者を訪問し、「まじめな産地」のまじめな生産者の取組みについてPRするなど、販売促進活動を展開した。

②農に関する交流事業  
○法政大学との交流

平成十五年法政大学と旧吉川町で協定を締結、平成十七年に上越市と協定を締結、交流は継続している。

○東京農工大学との交流

平成四年より実施、毎年二十人程度が柿崎区の農家に一週間程度ホームステイして農業について研修を行っている。

○東京農業大学との交流

・平成七年より農家へのホームステイが始まる。(現在も継続)

・平成十七年に市と協定を締結、谷浜桑取地区において「中山間地有機栽培研究業務」を市から委託し研究を実施。  
・平成十九年度はホームステイ、農作業体験等で五十名以上が参加。

・平成二十年四月一日、株式会社じょう

えつ東京農大を設立登記し、谷浜・桑取地区を拠点に営農活動を行う。

○生協との交流

・東京マイコープとの交流。東京マイコープの会員が田植え、草刈、稲刈、そば打ち等に一二二名が参加。

【お酒】

越後・謙信SAKEまつりの開催。会場：高田本町商店街

高田酒造組合の蔵元でつくる越後・謙信SAKEの会実行委員会は、二月二十一日〜二十七日まで東京都内において、



SAKEまつり 試飲の様子

上越清酒の販路拡大に向けた商談会や二〇〇八越後・謙信SAKEまつりなどのPR活動を展開した。

【そば】

○そばの振興

平成十九年の作付面積一七二ヘクタール。そのうち、上越ブランドとして育成している「とよむすめ」の作付面積は五十九ヘクタールで十八年比で約二倍となっている。

○上越そばまつりの開催

市内各地で栽培されているそばを一堂に集め、多くの方の上越市がそばの産地であることを発信するほか、そばの新品種「とよむすめ」のPRも行う。

【青芋（あおそ）】

○食への活用

市民プラザ内レストランの経営者と市内の料理研究家等が連携して、青芋（別名からむし）を食材として活用しようとして取り組んでおり、謙信と地産地消をテーマにした市民プラザ内レストランでは、からむしを使った料理を五月一日から提供している。

からむしは、カルシウム、ビタミンAが豊富であることから、今後は食育とも絡め、栄養価を吸収しやすいメニューを

考えていく。

◎北陸新幹線について

【北陸新幹線】

平成二十六年度末の長野・金沢間の完成を目指し、鋭意、事業の進捗を図っている。

【新駅周辺整備】

当市で進めている新幹線新駅周辺整備は、主に三つの事業により構成されている。

一つ目の新幹線新駅地区土地区画整理事業は、釜蓋遺跡（平地性環濠集落）の発見に伴い、この遺跡を地域の貴重な資源として保存活用し、今後のまちづくりを活かしていく方針。

二つ目の信越本線移設事業は、新幹線新駅は脇野田駅の西側約二〇メートルの位置に建設されることから、信越本線を新幹線脇に移設し一体的な整備を行い、新幹線駅と在来駅との乗換の利便性向上を図る。

三つ目のアクセス道路整備事業では、主要なアクセス道路となる国道十八号と新駅を結ぶ都市計画道路脇野田岡原線は、新幹線の開業時までの完成を予定し、事業に着手。

八 取組みの主な成果

◎企業誘致について（最近の主な進出企業と本社所在地）

キッセイ薬品工業㈱（長野県松本市）  
日精樹脂工業㈱（長野県坂城町）  
太陽誘電㈱（東京都台東区）  
㈱ナルス（上越市）

○上越火力発電所建設について

平成十九年三月二十七日、上越火力発電所一号系列の工事が着工された。

世界的に二酸化炭素排出量の削減が求められていることや中部地域の好調な経済活動による電力需要の増加、長野県への電力安定供給を図るため、五年前倒しの今年四月に二号系列の工事に着手した。



帝石石油 LNG 受入基地建設予定地概要図  
（北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所より）

○帝国石油LNG受入基地建設について  
帝国石油では、環境・省エネ意識の高まり、さらには原油価格の高騰を背景に、LNGの需要が高まっており、中長期的に十分な天然ガス供給能力を確保するため、パイプラインネットワークの要衝に位置する直江津港にLNG基地の建設を行うこととした。

○KDDI株式会社ロシア・日本ケーブルネットワーク建設について

平成十九年八月、直江津局(KDDI)からロシアのナホトカ局(ロステレコム)を結ぶ海底ケーブルを敷設する工事(二系統)を実施中。

当該ケーブル敷設により、ヨーロッパへの伝送距離を従来より五、〇〇〇kmから八、五〇〇km短縮することができ、テレビ伝送時の画面と音の違和感の解消に寄与できる。

地勢的に東京とロシアを結んだ最短距離の線上に位置する日本海側の都市が上越市。環日本海の日本側の玄関口としての位置的優位性を示すもの。

# 胎内市って何処だか判りますか？

新潟県も合併による新市町村の出現で、開きなれない市や町があります。

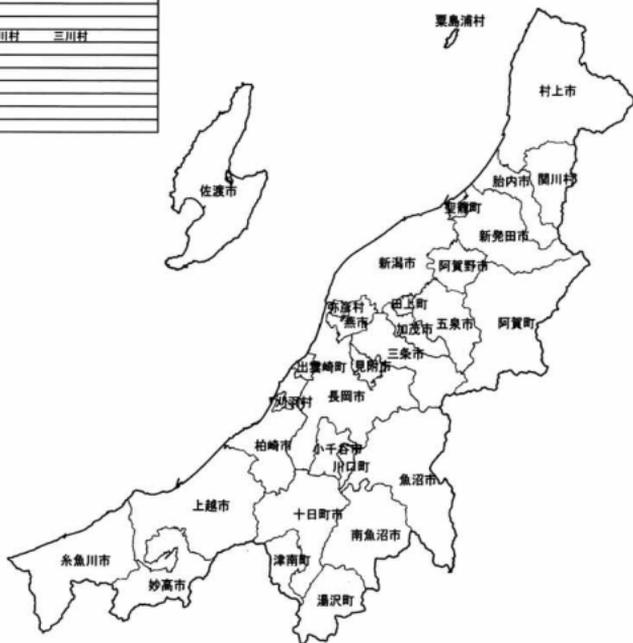
胎内市、阿賀野市、阿賀町、…。

そこで復習の意味で整理してみました。

地図は現在の新潟県の市町村です。

(編集部)

H20.4.1現在	合併前 (H13.1.1~H20.3.31)				
新潟市	新潟市	島田町	白根市	豊栄市	小浜戸町
	埴越町	亀田町	笹塚村	西川町	塚方村
	湯原村	月潟村	中之口村	新潟市	巻町
長岡市	長岡市	中之島町	越前町	三島町	山古志村
	小国町	頸尾市	和島村	寺泊町	身振町
三条市	三条市	室町	下田村		
柏崎市	柏崎市	真野町	西山町		
新潟県市	新潟県市	豊浦町	雲雲寺町	加治川村	
小千谷市					
加茂市					
十日町市	十日町市	川西町	中里村	松代町	松之山町
犀川市					
村上市	村上市	荒川町	神林村	朝日村	山北町
燕市	燕市	吉田町	分水町		
糸魚川市	糸魚川市	船生町	青海町		
妙高市	新井市	妙高原町	妙高村		
五泉市	五泉市	行松町			
上越市	上越市	安塚町	清川原村	大島村	坂村
	神崎町	大湯町	堀城村	吉川町	中郷村
	坂倉町	濃里村	三和村	名立町	
阿賀野市	安田町	京ヶ瀬村	水原町	笹神村	
佐渡市	高津市	相川町	佐和田町	金井町	新穂村
	姥野町	真野町	小水町	羽茂町	走泊村
魚沼市	堀之内町	小出町	湯之谷村	広神村	寺岡村
	入広瀬村				
南魚沼市	六日町	大和町	塩沢町		
胎内市	中条町	黒川村			
阿賀町					
津川町	藤瀬町	上川村	三川村		
出雲崎町					
川口町					
湯沢町					
津原町					
羽羽村					
関川村					
粟島浦村					



# 『ふるさと納税』に「協力」を

Jネット会長 和久井博（幸町出身）

## 「ふるさと納税」とは

「ふるさと納税」とは、ふるさと（出身地に限らず、あなたが応援したい自治体）へ贈る寄附金です。

あなたが、ふるさと（上越市）へ寄付した場合には、現在納税している自治体の住民税などから一定額（おおよそ個人住民税の割の額）まで控除されます。

## 何故「ふるさと納税」なのか？

一般に大学を卒業させるまでにかかる学費は七〇〇万円とも言われています。それ以外にも衣食住をはじめ怪我や病気の治療費などがかります。

これらの費用は保護者や地方自治体が負担してきました。

一方、大学を出た息子さんが都会に住み、企業に入り、ビジネスの世界で活躍し多くの利益をあげた場合、そのメリッ

費用を負担した地方へはほとんど還元されません。

そこで、「ふるさと納税」制度がスタートすることになりました。

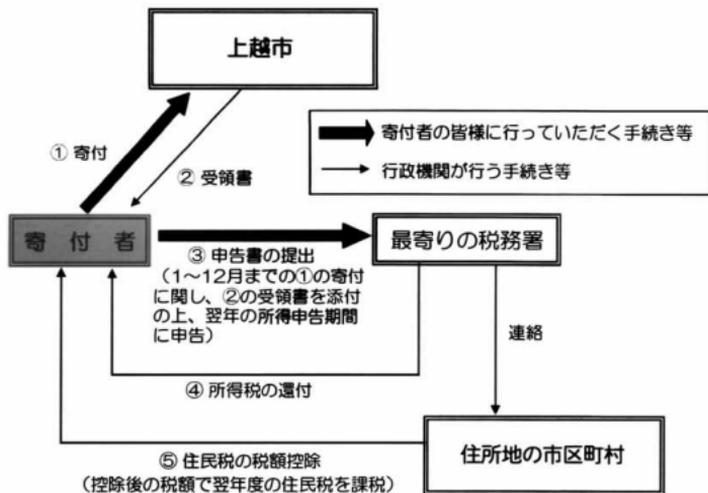
## 是非、上越市へ寄付の申込みを！

今すぐに、昨年の個人住民税の額を調べ、寄附金の額を決め、次ページの申込書を上越市へ送ってください。私も既に手続きを行いました。Jネット会員以外の方にも是非勧めてください。

「ふるさと納税」をすると、そのうちの五千円は控除対象外となります。「ふるさと」のためなら五千円位は。という方が多いとは思いますが、Jネットでは、「ふるさと納税」をされた方に対し、ふるさとを想う皆さんのお気持ちに何かお応えできるといい制度等について、今後検討していきたいと考えています。

## この控除を受けるための手続きは？（上越市への寄付を例に）

- ・最寄りの税務署で所得税の確定申告をしてください。
- ・確定申告しますと、所得税の還付と個人住民税の税額控除が受けられます。



（寄付の問合せ・申し込み先）  
 上越市財務部用地管財課  
 〒九四三-1860-1  
 上越市木田1-1-13  
 TEL 〇二五-261-5111  
 (内線1692)  
 FAX 〇二五-261-6183

郵便先 〒943-8601(住所は記載不要です)上越市財務部用地管財課 行  
 ファックス送信先 FAX:025-526-6183

## ふるさと上越応援寄付金申込書

(あて先)新潟県上越市長 木浦正幸

平成 年 月 日

\*の箇所は必ずご記入ください。

* 住所	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
	都 道 市 区 府 県 郡	
フリガナ		
* お名前		
* ご連絡先	* 電話番号	
	FAX番号	
	E-mail	

\*1 私は、上越市に「ふるさと上越応援寄付金」を申し出ます。

寄付金額         円

\*2 希望する入金方法(一つ選んで番号を口に入れてください。)

- |           |  |                                 |
|-----------|--|---------------------------------|
| ① 納入通知書払い | 市からお送りする納入通知書により下記の金融機関の窓口で納入。手数料はかかりません。                              | 記入欄<br><input type="checkbox"/> |
| ② 郵便振込み   | (市外)にお住まいの方のみ利用可能です。市からお送りする専用の振込用紙により全国のゆうちょ銀行(郵便局)の窓口で納入。手数料はかかりません。 |                                 |
| ③ 銀行口座振込み | 市がお知らせする銀行口座に振込み(第四銀行上越市役所出張所)。恐れ入りますが手数料はご負担ください。                     |                                 |
| ④ 現金書留払い  | 50万円までお取り扱いできます。恐れ入りますが郵送料はご負担ください。                                    |                                 |

\*3 希望する寄付金の使い道(一つ選んで番号を口に入れてください。)

- |                    |                |                                 |
|--------------------|----------------|---------------------------------|
| ① 安全・安心のまちづくりの推進   | ⑧ 都市基盤の整備      | 記入欄<br><input type="checkbox"/> |
| ② 環境保全の推進          | ⑨ 国際交流・都市交流の推進 |                                 |
| ③ 健康と福祉の充実         | ⑩ 定住の促進        |                                 |
| ④ 子育て支援の推進         | ⑪ 教育・スポーツの充実   |                                 |
| ⑤ 地域産業の活性化と企業誘致の推進 | ⑫ 文化・歴史の保存・継承  |                                 |
| ⑥ 農林水産業の振興         | ⑬ 市長にお任せ       |                                 |
| ⑦ 観光の振興            |                |                                 |

上越市への応援メッセージをお願いします。(自由記入欄)

注1 納入通知書により納入することができる金融機関は以下のとおりです。

- 下記金融機関は国内の全店舗で納入することができます。  
 第四銀行/北越銀行/八十二銀行/大光銀行/富山第一銀行/上越信用金庫/新井信用金庫  
 新潟県信用組合/糸川川信用組合/新潟県労働金庫/えちご上越農業協同組合
- 下記金融機関は上越市内の三店舗で納入することができます。  
 新潟県信用漁業協同組合連合会(名立代理店/直江津代理店/才浜代理店)

ご注意！ 入金方法に応じて書類を郵送します。電話による振込の依頼は一切いたしません。  
 寄付をかたった詐欺行為には十分ご注意ください。

# 春のふるさと交流会

鎌倉区 小野塚い子(松之山出身)

春のふるさと交流会への参加は三回目となりました。一回目は「Jネットの桜」植樹の時、二回目はその二年後。植樹から六年を経て、周りの大木に比べるとまだ少年のような雰囲気な若木ではありましたが、しっかりと根付き、枝を張り沢山の花をつけている姿は素敵でした。自分の手でスコップを握り、二元氣に「大きくなれ」と土を寄せた植樹の時の感動を思い起こしました。嬉しい事です。

さて、四月十日午後一時の高田公園入口集合に合わせ、越後湯沢経由ほくほく線を利用して高田に向かいましたが、着いてみると天気予報どおりの雨で、四月にしては寒い日となりました。「花冷えのことばを思いながら集合地へ。」

最初の行事は、高田城見学で一月の文化講演会「直江兼続」の講師植木宏先生か

ら、高田城址の地図の前で城の成り立ち、内堀・外堀の配置、移動しながら極楽橋の構造、本丸土塁・三重櫓についてレクチャーを受けました。詳しい説明に、高田出身の会員の方々も「なるほどなるほど」と改めたい勉強の機会になったと喜んでいました。

勉強会も終わる頃には冷たい雨も上がっていました。雨の為、Jネットの桜の木の下での観覧会を中止して、公園を横切りお堀端にある「岩間邸奥座敷」をお借りして臨時の観覧会場へ向かいました。木浦市長はじめ、地元の方々も交え、賑やかに宴が始まりました。何時もながらテーブルには故郷の山菜料理がいつぱいに並び、感謝感謝の気持ちで楽しく美味しくいただきました。多くの方々の参加もあり交流会の楽しさが

部屋全体になびいておりました。雄大な妙高・南葉山を借景にして見る、岩間邸からのお堀と桜は天下一品です。私達を歓迎するかの様に雲に隠れていた妙高山も、途中より姿を見せてくれました。はね駒もくつきりと見え、懐かしい風景に出会えて、これも嬉しい事のひとつでした。

宿泊地は柿崎区のマリンホテルハマナス。波打ち際の丘に建ち、窓から見えるのは砂浜と船小屋、日本海だけという絶景でした。温泉三昧。夕食はもちろん賑やかな宴会となりました。

二日目は吟田川(ちびたがわ)ブランドの酒蔵代々菊酒造を訪ね、中越沖地震・家事の災難を受けながらも「苦労しながら酒づくりに頑張っている話を聞きました。銘酒のきき酒の後、私はお気に入り「米の雫大吟醸生を留守番の夫へ土産用」に購入。

楞嚴寺(りようこんじ)、米山薬師と密蔵院、柿崎川ダム、庭が何種類もの椿の花でいつぱいの坂口記念館、瀧本亭(豪農の館)、コッペル号、樹下美術館等を見学、午後三時半に直江津駅で解散。

次いでオプションツアー「良寛さんを訪ねる旅の始まりです。」

お宿寺泊「日本海」のバスにのって、一路お宿に向かいます。

参加者は、和久井、松川、勝島、中村、関原、岡村、永嶋、早川、日下部、岡村さんの友人で初めて参加した会員肥田、鈴木と小野塚でした。男性六人、女性六人です。

良寛さんの生まれた出雲崎(天領の里)を経て、途中柏崎原発を見学の予定でしたが、閉館時間となつてしまい割愛しました。宿泊は日本海に沈む夕日を賢沢に一望できる「海風亭 寺泊日本海」の波の打ち寄せる音が印象的でした。

此処では海の幸で二日目の宴会が始まりました。持ち込んだ上越のお酒を飲み、食後は腹ごなしにカラオケを楽しみ、もちろんナイトフィーバー。



小野塚い子さん

翌朝魚のアメ横寺泊でシヨッピング。前夜の食卓上がり、初めて食した「のどぐろ」の生の姿を見つけ、のどだけでなく腹も黒かったことを発見しました。

旧分水町にある大河津資料館を見学、信濃川の増水による越後平野での水害をなくすために、信濃川と分岐・分流させ長岡市を抜けて日本海に流す大河津分水となる人工の川を目の当たりにしました。先人達のご苦労を思いました。

その後、朝日山公園の国上山（くくにがみやま）に向かい、国上寺（こくじょうじ）を参拝、脇からの登山道を行くと良寛さんが四十八歳から五十九歳までの十年間住んだという五合庵がひっそりと建っておりました。大正三年に再建されたという建物は古く簡素なひなびた庵でしたが、その縁先に座わると目の前の緑の中に赤い戴ツバキの花が話しかけてくるようでした。良寛さんもこんな風に椿の花と向きあっていたのかなと、遠い日を想像しました。

五合庵を通り越し、階段になっている山道に入ると、山歩きが好きな人にはたまらないコースが続きます。途中深い谷にもものすごく大きな吊り橋があり、高い所がダメな私はある男性の手を握りながらやっつと渡りました。山頂の朝日山展望

台までは一時間ほどの距離で、山頂は芝生に覆われており、家族連れや二人連れが、楽しそうにお花見弁当を広げているのを見ると若かりし時を思い出します。

「良寛さんと穂」の像の前でJネットのサンババ（早川・日下部・小野塚）は記念写真のモデルにと所望されポーズをとりました。

次は弥彦神社参拝です。三日間の疲れが出たのか、サツサと心を込めたお参りをしして帰ってきました。参加者の体力を考えると、いささか欲張っていたようです。

午後三時、燕三条駅で解散。サンババは新幹線で東京へ戻りました。

八十歳を越した早川さん、病魔と奮闘中の日下部さんお疲れ様でした。オプシヨ旅行を計画された中村さん、有り難う。又サンババを旅に誘って下さい。



市長を囲んで



岩間部よりの眺望



岩間さんのお世話になりました



岩間部での交流会





柿崎・マリンホテルハマナスにて





米山薬師にて



神崎川ダム



楞嚴寺



楞嚴寺



吟田川・代々菊酒造



吟田川・代々菊酒造



瀧本部



瀧本部



樹下美術館



コッペル号



仲よし三人組



寺泊のホテル日本海にて



良寛さんの五合庵



弥彦神社



良寛さんの昼の像と三ババ

## 宇宙航空研究開発機構見学会

大岡百重子 藤沢勝一郎(東本町四丁目出身)

平成二十年四月十九日(土)、茨城県つくば市にある宇宙航空研究開発機構(JAXA)筑波宇宙センターを見学しました。この日は、科学技術週間にちなむ同機構の一般公開日であり、天気があまらしくなかつたにもかかわらず、お父さんお母さんと子供達の長い行列が出来るほどの賑わいでした。我々のグループは五名でちよつと寂しい。

午後からは、石岡市内の関東の清水寺とも言われている「峰寺西行院」を見学しました。

## 宇宙航空研究開発機構

入口で構内案内図を手渡される。矢印に従って、まずロケット広場。ここには、鹿児島県種子島から日本の各種衛星を打ち上げたH-IIロケットの実機が横になつて展示されていきました。機体が大き

くて長いということは分かるのですが、ロケットは立つていないとまるで迫力がない。でも記念撮影、パチッ。

続いて宇宙ロボット実験室。いくつもの関節を持ったアームが、器用に動く。自動車工場などの単純作業ロボットとは、全く違っていました。

別の棟では、打ち上げに失敗して海中に落ち、回収されたH-IIロケット八号機一段エンジン本体の多数の部品やメイン噴射機、液体酸素ターボポンプ、ノズルスカート等が展示されていました。ロケット落下位置を特定し、海洋科学技術センター(現海洋研究開発機構II第二回Jネット勉強会で見学)の協力を得て、深海から回収したものです。回収部品から失敗原因を探り、次の成功に繋げて行つたのです。

マスコミや多くの人たちは、失敗を辛

らつに責めることがあります。しかし、科学の実験に失敗や予想外のことが起こるのは当たり前で、それらが積み重なって成果が出てくるものなのです。特に、トップを走る科学技術や他国が不出にしているものについては、失敗を「否」と言うのなら、日本は常に他の国々の後塵を拝すことになり、ひいては国の安全や国益にも影響してしまいます。

次の棟では、去年十一月三日に衛星「かぐや」が、月の北半球を高度100〜190kmからハイビジョンカメラで八分間撮影した画像を、一分間に縮めて放映していました。ごく間近で見ると、クレーターが実に鮮明に写っています。

また、これまで打ち上げた数種類の衛星や来年完成する国際宇宙ステーション(ISS)に取付ける日本の実験棟「きぼう」の実物大モデルを見「きぼう」の中核施設「船内実験室」にも入ってみました。

「船内実験室」は直径四・四m長さ十一・二mの円筒形で、中にはいろいろな科学・生物実験装置が整然と置かれていました。ロケットで運ぶのには大きいものですが、地上で見ると限りスペースとしては狭そうに感じました。

その他、宇宙実験室「きぼう」棟開発現場・運用管制室等を見学。

今回の勉強会場は、構内循環バスが



左端：藤沢さん

走っているほど広くて、もう歩きたくないほど疲れた。

昼食時をだいぶ過ぎていたので職員食堂へ。見学者が多くて混雑していたが、テーブルはどこどころ空いている。早くできるものということでラーメンにした。

食堂の外で宇宙食品が販売されていたので、土産にカレーとイチゴを買ってきました。

カレーは、新宇宙食コンペで採用され、外国の宇宙飛行士達にも人気があるだけに、コクがあつて実に美味かった。このメーカーに対するカミさんの評価も大きく変わりました。

イチゴは、水分を除去・滅菌した乾燥

もの。イチゴの香りはするものの、パサパサしていてチョット酸っぱい。ちなみに原材料は、米國産でした。イチゴは、生の方がはるかに美味い。



### 峰寺西行院

この寺は、筑波宇宙センターから四十㎞ほど離れた石岡市内(旧八郷町)の山の中腹にあり、開山は平安時代初期(八〇七年)と伝えられている。本堂は、茨城県では類例のない懸造りで、県の文化財に指定されています。廻廊からの眺めはすばらしく、眼下の田園風景、遠く霞ヶ浦や太平洋までも見渡せ、関東の清水寺の名に恥じない。この寺は、六mもある檜材寄木造の観音菩薩像があることでも有名であり、また本堂の直くそばには樹齢七〇〇年余のスタジイと樹齡の分らないクスノキの巨木があって、枝を大きく扱げた両木は実に見応えがありました。

この寺へは、車がやっと通れるほどの

細い山道を登って行くのですが、そんな不便な場所にも関わらず、地元や遠くからの参拝者・見学者が結構多いのに驚かされます。

十五年ほど前のつくば勤務時代に、何回かこの寺に来たことがあるのですが、境内西方にある球状花崗岩(俗称小判石)を見に行ったことはありませんでした。今日のメンバーは、勉強好きなのか好奇心旺盛なのか分かりませんが「見に行こう」ということになりました。鉄製の階段を五分ほど下りて行くと、黒色の大きな岩があります。その黒雲母花崗岩の下の部分に石英・黒雲母・白雲母等粗粒の集合体を核とする長径十㎝ほどの小判型模様の石がいくつも入り込んでいる不思議な岩でした。この岩は、昭和十二年に県指定の天然記念物になったとのことです。天気の良い時は、いくつものパラグライダーがこの寺の周りを気持ち良さそうに飛んでいるのですが、この日の朝は風が強かったため、一人も飛んでいませんでした。



# 城南中学校と『葦の芽』

杉豊 岡田幹治（本町三丁目出身）

手許に、『葦の芽』第六号と題された小冊子がある。高田市立城南中学校が一九五六年（昭和三十一年）三月に発行したものだ。A五版、六十二ページの、紙が黄ばんでしまったこの冊子を手にすると、私の心は半世紀もの昔にタイム・スリップする。

私が城南中に入学したのは、五十五年前の一九五三年四月。同校が市内大手町の紡績工場跡に開校して五年後のことだ。教員室や三年生の教室がある校舎は新築されていたが、一、二年生の教室は工場の寄宿舎がそのまま使われていた。在学中に図書室ができ、玄関が完成し、施設が少しずつ整っていった。そんな時期だった。

校歌はまたなく、私が入学した直後に、「仰ぐ妙高 陽に映えて」で始まる生徒会

歌ができた。しばらくして、小田正郎、吉村康彦という若い先生が作詞、作曲した応援歌「立て若人、光りをあびて」ができた。こうした面でも、整備の途中なのだった。

へそ曲がりの私は、新潟大学の付属小学校から城南中へ進んだ。級友たちのほとんどと別れて城南中への道を選んだのは、「良家の子が集まる付属中では、本当の社会に触れることはできない」と、子どもなりに考えたからだ。さぞかし生意気で嫌味な中学生だったことだろう（今でも相当に嫌味な人間だが）。その選択が正しかったかどうか、神のみぞ知るのだが、ただ、付属中ではできなかったかもしれない体験をいくつもしたことは間違いない。その一つが、『葦の芽』という生徒作品集への寄稿である。



『葦の芽』は、創立四年目の五一年から毎年、十号まで発行され、それ以後、三年に一回の発行になった。そこには、敗戦から復興、そして高度経済成長へと移っていく時代のなかで、一地方都市の中学生たちが何を考え、どう行動したかが書き記されている。当時の社会や暮らしぶりも記録されている。たとえば、手許にある第六号には、家につしかなない時計が動かなくなつたのに新品が買えず、しばらく時計なしで過ごした一家の悲しみと喜びを描いた作文が載っている。敗戦から十年を経て復興は終わったとされる時期でも、私たちはまだ貧しかったのだ（これを書くために上越市の担当者に調べていただいたが、『葦の芽』全号が保存されているところはなかった）。

さて、手許にある第六号を改めて手にとってみると、まず、誌名がカッコいい。誌名に込めた思いを、当時の伊沢儀太郎校長は表紙裏にこう記している――「人

は考える葦である。…故に吾等の威厳は一に考えるということにかかっている」とパスカルは書いた。…青少年は人間の若芽であり、考える葦の芽である。私は葦の芽の成長に大きな希望をかけている、と。



表紙をめくると、奈良・東大寺大仏殿の屋根が、明るい九月の光の中に夢のように浮かんでいる一枚の写真。池田晃先生の労作だ。続いて、伊沢先生執筆の「京郊雑記」が掲載されているのだが、このエッセイがすばらしい。

「京郊雑記」は梅尾（とがのお）、詩仙堂、嵯峨（さが）という京都郊外の名所三方所を訪ねた旅行記である。だが、単なる見聞録に終わっていない。行く先々で先生は静けさの中にじつと座り、思索にふける。その思索のあとが、達意の名文でつづらられている。しかも、三方所それぞれに自作の和歌が付けられているのも、ちよつと真似ができない。うち一首を紹介しよう。

梅尾の石水院のひろさがり  
たにふかうして日もかげりおつ

もちろん、このエッセイのよさは中学三年の私には全く理解できなかった。おそらく当時は読んでいかなかっただろう。しかし後年、新聞記者になってから読み直し、伊沢先生の誠実で高潔な人格と高い教養が伝わってくる文章に感動した。

伊沢先生は、戦後の学制改革で生まれた城南中の初代校長に就任し、「良識ある職業人の育成」という目標を掲げて七年間、学校運営に当たられた。私は在校中、毎週のように全校集会でお話をうかがったはずだが、どんな内容だったか、全く記憶がない。ただ、しばしば「パンパン」という言葉が出てきたことだけを覚えてい

る。先生は「占領軍兵士を相手にする夜の女たち」を表す言葉に、どんな思いを託され、中学生たちに何を伝えようとしたのだろうか。どなたかご存知の方、いらっしやらないだろうか。

話を『葦の芽』に戻すと、第六号には二十三編の文章と十三編の詩、二枚の絵画と三枚の版画、そして三枚の書が載っている。当時三年生だった私の同期では、佐藤昌紀、堀田興治、本山ノブ、浦井哲

夫、川上登、井田典子（以上、文）、上浦みつえ（詩）、浦井哲夫、小岩孝子（以上、絵画）、浦野俊則（書）の名が見える。

この思い出をまとめるため、一、二年生の文も含め読み返したが、どれもなかなかの出来栄えだ。なかでも、堀田さんの「狩猟に行つて」と本山さんの「就職試験に思う」に感心した。前者は、近所の猟師に誘われて鳴撃ちに行き、「生活のためでなく、ただほんの遊び、心のために、何の罪とがないあんな小さな命をとらなければならなかった僕たちの残こさが、たえられぬほどあわれになって」くるまでの心の変化を、実在的確に記している。また後者は、貧しさゆえに進学をあきらめ、就職試験を受けるが、母親がいらないことを理由に落とされた理不尽を切々とつづつて、胸を打つ。

この第六号には、「これでいいのか」と題する私の文も載っている。身の回りや社会から六つの出来事を取り上げ、それをめぐる考えを述べたものだが、読んでみると、思考の浅さや表現の拙劣さが目について、よくもこんな文を書いたな、と恥し入るばかりだ。でも、当時は大真面目だったのだから。そして掲載されたことがうれしくてならなかった。だから、大切な思い出の品として、いまも本箱の片隅に残っているわけだ（第五号には私

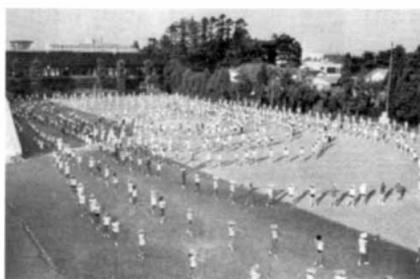
が二年生のときに書いた文が載っているはずだが、ある人に貸し失くしてしまつた。

城南中卒業後、私は高田高等学校から一橋大学に学び、朝日新聞社に入った。

地方記者、経済記者、アメリカ・ワシントンの特派員、論説委員などを務めた三十数年間は、出世とは無縁だったものの、定年まで鉛筆を握り続けられた点では幸せだった。そして定年から七年経つたいまも、フリーライターの仕事を細々とだが続けている。頭も体も衰えていくのに、なぜまだ「調べて書く仕事」をやめないのか。それはたぶん「不正なことを知つたら黙つてはいられない」という、誰もが持っている心「プラス」「書いたものが活字になる喜び」の故ではないかと思う。そして、書いたものが活字になる喜びを最初に知つたのは、城南中での体験ではないかと、最近、考えるようになった。そうだとすれば、『葦の芽』は知らず知らずのうちに私の人生に大きな影響を与えたことになる。

城南中は一九七九年、上越市の中学校統合計画にもなつて閉校になった。三十一年の歴史だった。今年は、四八年の創立からちょうど六十年。跡地には消費生活センターや高田幼稚園が立ち、往時

の面影はきれいになくなっている。しかし、そこで学んだ三年間のことどもは私の脳裏にしっかりと残り、ことあることによみがえってくる。



(左) 校舎全景、(右) グランドいっぱい踊りの輪（いずれも記念誌「三十年のあゆみ」より）

# ふる里へ小旅行

大和町 玉井輝（本町六丁目出身）

Jネットの皆さん今日は。

先日「お元気ですか」でご紹介しましたふる里への小旅行を子供、孫、ひ孫と一緒に楽しんできました。九十三才になる私を頭に長男、Jネット家族の娘野田ヒロ子と塩田礼子、孫夫婦三人、ひ孫四人、総勢十一人での楽しい一族水入らずの二泊三日の旅行でした。

お宿は、直江津港から車で十分の所にある国民年金健康センターです。初めて利用しましたが、便利なところであり、お手軽に利用出来ました。

主目的は、私の大好きな玉井家菩提寺「常願寺」ご上人さんの退山式に参加することでした。

五月二十五日、読経の中、厳肅に式は進み、小雨の中高田駅裏の新上人さんの善光寺さんから常願寺さんまで三百メートル程の稚児行列など盛大に行われまし

た。退山されるご上人さんは、真冬の大寒修行を努めあげ、高田高校で長年歴史を教えておられた佐藤春朗先生です。玉井家も苦難の時大変お世話になりました。感謝の気持ちで一杯です。お寺とは先祖様のお導を頂き、人様との出会いを下さる素晴らしい場所だと思います。お写真でその時の様子をご覧ください。

ふる里は遠さにありて思うばかりではなく、法事、Jネットの旅行など多くの機会を利用して、これからも里帰りに励みたいと思っています。上越は昔と比べうんと近くになりました。皆さんもふる里を近くでご覧下さい。

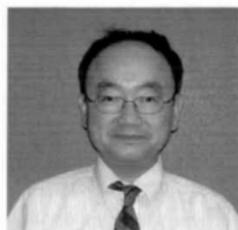


玉井さん



# 名前雑感

自筆 岡村 普 (直江津西本町出身)



はあまり見なくなりましたが、一説には「子」が復活しつつあるなんて聞きます。ちなみに上越女の子の二位は理子(莉子)ちゃんでした。

さて、私事で恐縮ですが、私は二人兄弟で兄は「義重」よししげと言います。これは「第一義」から頂いたとされています。ある意味、上越の地域性の強い名前といえるかも知れません。といって上

越に「義」を使った名前が多いかと思いきや、私が調べる限り、全国平均とさほど変わらず、ついでに上杉家にちなんだ名前も、上越だからといってさほど多くはないようです。来年の大河ドラマで少しは変わるかあまり期待は出来ないな。何はともあれ、もう少し「義」を増やしましょう！

で、かくいうこの私「普」と書いてなんと読むかわかりますか。「すすむ」「しん」は間違いです。それは「晋」であって「普」ではありません。実は「普」と書いて「ひろし」と読みます。小さい頃は公の場で「すすむさん」と呼ばれ、赤面した覚えが何度もあります。でも大人になってからは、名刺を出した時「この名前なんているの？」から会話が始まったりして(だから、あえて振りがなは付けません)、満更でもないと思うようになりまして、同姓同名がほとんどいないというの気に入っています。三面記事に出るようなことはまず出来ません。ネットで検索すると福島、そして何故か中国の牡丹江に「岡村普」さんがいらっしやいます。少ない名前だけに責任重大です。私は個人でも企業でも名前を背負うということは、同じ名前の人や企業に対して名を汚さない責任があると考えています。

- 参考資料  
子供の名前ランキング  
上越地域(上越タイムス 一月十五日)
- 男の子
- 一 はると (遼斗、晴人)
  - 二 ゆうと (結人、悠人)
  - 三 こうき (恒輝、皇生)
  - 四 ゆうま (佑真、優葉)
  - 五 かいと (海斗、快音)
- 女の子
- 一 りこ (理子、莉子)
  - 二 ゆな (優菜、結南)
  - 三 ほのか (穂香、みゆ(美結、心裕)
  - ゆい (結衣、夕彩)
- 全国(明治安田生命)
- 男の子
- 一 ひろと (大翔)
  - 二 れん (蓮)
  - 三 だいき (大輝)
  - 四 しょうた (翔太)
  - 五 ゆうと (悠斗)
- 女の子
- 一 あおい (葵)
  - 二 さくら (さくら)
  - 三 ゆうな (優菜)
  - 四 ゆい (結衣)
  - 五 ひな (陽菜)

# 無私の先導者

正重区 田端宗寿（旧金谷村出身）

民俗学者の谷川健一氏が日本経済新聞に連載された「私の履歴書」のなかで沖繩の人頭税についての記述がありました。薩摩の支配下にあった琉球王府が宮古、八重山群島の住民に課した過酷な税制で、寛永十四年から明治三十六年に廃止されるまで、二六六年の水きに亘って島民を苦しめました。

その人頭税廃止運動の先頭に立ち、宮古島民の代表をひき連れて上京を果し、帝国議会に請願を繰り返すついに廃止を勝ち得た二十七才の若者、中村十作（板倉町出）について詳しく書かれていた。

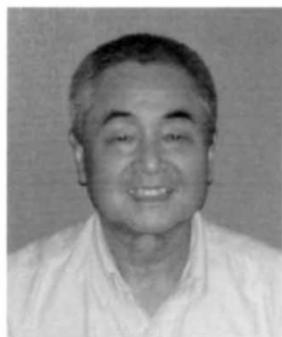
三十年ほど前に沖繩巡演のさい人頭税石に案内され、その石の高さ（一四三〇）より背が伸びた島民は性別、年齢を問わず課税の対象にされ、夫役賃、四十八種類、物産税などの重税に喘いでいたと説

明を受けた記憶がありませんが、上越の若者がその廃止に尽力していたとは知りませんでした。

中村十作は真珠養殖の夢を抱いて宮古島に渡りました。板倉の実家に事業資金の要請もし十分な資金も用意しました。御本本幸吉が養殖を旨指す時期と前後するそうです。

中村十作は来島するまで人頭税という言葉すら知らなかったそうです。用意した資金を惜しげもなく提供し、島民を口説いて県令に訴え、上京して同郷の新聞記者増田義一（後に「実業之日本」社長）と共に当時のマスコミを動かし、多くの政治家を尋ね大隈重信から金一封も受けています。現地と東京で数々の妨害や官憲の脅しを乗り越えて、遂に明治二十八年に人頭税廃止法案が帝国議会を通過し

ました。



その後、中村十作は宮古島で水産組合をつくり、無人島で真珠養殖を始め成功を治めニューヨークやパリで商売をしたそうです。アメリカと日本の関係が悪化

し、青年の頃に抱いた夢は果されませんでした。が、人頭税廃止という大事業をなし遂げました。五十才で結婚した中村十作は妻にも、一緒に仕事をしていて妻の弟にも何も話さず、晩年に沖繩から送られて来た雑誌で知ったと言います。生前「私は自分が行なった事や言葉を反省し、余計な事は喋らないと固く決めている」と語ったと伝えられています。昭和十八年十一月二十二日、七十七才で波瀾に満ちた人生の幕を閉じました。

中村十作を調べるなかで、もう一人上越に関係のある人物が現れました。謙信公の末裔で最後の米沢藩主上杉茂憲で

す。二代目沖繩県令として家族を連れて赴任し、本島の隅すみまで巡回され作物のでき具合や生活について尋ねられたと巡回日誌に記されています。

久米島、宮古、八重山にも足を伸ばして実態調査して、内務省と大蔵省に「沖繩県上申書」を呈出し改革を求めています。然しあまりにも進歩的な考えに、なかく特権あぐらをかいていた支配層の反感を呼び、わずか二年で更迭されています。沖繩を去るに当り、未来を背負う若者の教育に望みをかけ、奨学金として当時としては大金三、〇〇〇円を寄付され、多くの指導者が果立っています。

明治時代に沖繩に係わった人々は、東北地方や雪国出身者が多く、輝く太陽の沖繩への憧れもあったでしょうが、それだけでは無い様にも感じられます。

上杉茂憲は奨学資金を置いて去り、中村十作は真珠養殖の準備資金を投げ出し



中村十作 (1867～1943)

ました。

谷川健一氏はこの人達は無私の心を持つていたと書いています。また東北の辿った歴史や文化に南国と共通するものがあり、沖縄の人々の苦しい現実の中に、自分たちにも通じた感情があったとも書いています。

谷川氏は東北人と南の人たちとの断ち切ることのできない固い絆は、自分の事を後まわしにして言葉より行動する無私の心があったからだと熱く語っています。人間が日常から飛躍し変化することをうまく説明できませんが、上杉茂憲県令は謙信公より代々伝えられた「第一義」の心があり、中村十作は配流の親鸞を支えた恵信尼の里で育ち、人間はすべて平等であるとの教えがあったと考えるのは我田引水すぎるでしょうか。

東京Jネットサロンでは同好の士が、中村十作の旧蹟を尋ねる旅行会を実施されたと同っています。参加された方々と感想も含めいろいろ語り合うことを楽しみにしています。

参考資料

「琉球沖縄史」沖縄歴史研究会、  
日本経済新聞「私の履歴書」谷川健一、  
筑摩書房「北国からの旅人」谷川健一



中村十作生家

# 板倉に終の棲家を探し当てた ご一家

千葉県 伊藤 紀（南城町3丁目出身）

ふるさと上越（高田）から上京して五十年になる。

二年も経てば古希だと云うのに実直さが災いしてサラリーマンを続けている。数年前からJネットふるさと越後大使を拝命しているが、日常の雑事や趣味（菜園、ゴルフ、囲碁、そして仕事）などに追われ、なかなか大使の役目を果たせないでいる。

先日、私が勤めている会社へ仕事でよくお見えになっている大竹さん（東京都出身、埼玉県在住）が、気に入った古民家が見つかったので上越市の板倉に奥さんと移り、永住すると言ってきた。大竹さんは、会社へ見えるようになって七、八年になるが、私と年齢がほぼ同じで、いつも話題が豊富で仕事そっちのけで愉しくしゃべり帰ってしまつことが多かった。

ただ初めはお酒の失敗談が多かった気がする。

いつからか私が越後大使とわかると、越後の話題が多くなり越後ファンで越後通いをしていること、上杉謙信や小川未明などの人となりを熱く語ることも多くなった。

「雪、古民家、農業にアコがれているんだ」「女房と連れ立ち越後訪問は二十回を超えましたよ」「上越の古民家は日本一です」「積雪の世界記録を持つ板倉に住めれば最高です」などなど興奮気味でした。酒好きの大竹さんにとっては、酒どころであることもすこく気に入ったのでしょう。

表参道にある「にいがた暮らし相談窓口」や上越市役所にある「上越市ふるさと暮らし支援センター」などへも顔をだ

し勉強されたようです。今、冬場の雪はどうなんだろう。曇天が続く雪国の冬にすぐ逃げ帰りはしないか。心配もしている。

越後へ住みたくなった気持ち書いてくれませんかとお願したら、数日後に奥様が書かれた随筆を持ってきてくれました。奥様は新聞などへよく投稿されているようです。

大竹さんとの出会いが、ふる里を知らない越後大使をふる里のすばらしさに目覚めさせ、また永く離れていたふる里上越をすこく近くに引き寄せてくれたような気がしています。

取り寄せた深雪花（岩の原ワイン）を一人飲みながら、今年はお父とおふくろの墓参りに女房と行ってみるかと思ったり、サラリーマンを卒業したら越後の歴史を勉強してみようかと思ったりしています。今日も上越にはきつと「美しい風」が吹いている事でしょう。

大竹夫人の「美しい風」をお読み下さい。



左：伊藤さん、右：妹さん

# 美しい風

埼玉県 大竹瑞世

田舎に住もうと思ったのには、これと  
いつて深い考えがあったのではなく、と  
にかく広々とした場所を毎日を通こした  
い、と、それくらいの理由からであった。  
その点、海があり、山があり、平野があ  
り、上越市はかなり広々としている。た  
だ面積が大きいと言っただけではない。何  
かしら悠然としていて、その上に、古い  
歴史が香る佇まいもある。加えて、上杉  
謙信が好きだ、などという、失笑を  
買いそうだが、伝えられる謙信の人となり  
には、どうしても敬意を禁じえない。

が、何よりもこの地で思うのは、人が  
生きるためのもっとも大切な、食糧を生  
産する現場であり、そのために汗する  
人々がいる、と言う事である。農業にし  
る漁業にしろ、都市においては、日々その  
生活の中で、身近に感じることはいくら  
ののだが、ここには、目の前に広がる水田

があり、日本の美しい原風景と言われる、  
棚田がある。けれども、棚田の美しさは、  
雪に耐え、山間の地を、営々と耕し続け  
て来た人々の、不屈の努力の美しさなの  
だろうし、広がる水田の美しさも、幾世  
代もこの他に、稲を作り続けて来た人々  
が、あつてこそである。まして、雪深く、  
何ヶ月も作物を作ることのできなかつた  
土地では、農業の苦勞も、大変なもので  
あつたらう。しかし、雪も、大切な何か  
を包みこんで、天から降ってくるに違  
ない。静寂と共に、考える瞬間と、休息  
とを与えてくれる。雪に閉ざされる冬が  
あるからこそ、その次には、目のさめる  
ような、春が来る。緑が日増しに濃くな  
り、田に水が入り、やがて青々とした稲  
がゆれる。その風景を見てみると、何事  
も無く、今年も収穫のときが来るように  
と、ごく自然に、素朴な願いが湧いてく

る。近年、いろいろな意味で、日本人は  
米に冷淡だつたように思う。世界的な食  
糧不足や、自給率の低さから、米の利用  
が言われているが、それは、作ってくれ  
る人があつてこそである。他の作物や、魚  
も然りである。

田舎暮らしとは、四季の移り変わりを  
楽しみ、ゆつたりと、日々を通こすばか  
りでなく、そんな大切なことも、考えさ  
せてくれる。

見渡す限りの、水田をきらめかせて、風  
が吹き渡る。ここに人が住み、田を作り、  
畑を耕すずっと昔から、この風は吹いて  
いたのだろう。義のためにこそ、出陣し  
たという、謙信の時代にも…。そんな事  
を、ふと思つてみる美しい風である。



大竹瑞世さん



板倉区久々野 築100年の古民家

# 七十五歳のエベレスト挑戦を支えた藤嶋さん



## オムレツ、白玉あんみつ、茶碗蒸し……

「エベレストベースキャンプ三浦雄一郎さんの遠征隊のヤンパ(ネパル)川木村 食にはバラエティー豊かさか)カニクリームコロッケ、サムゲタン(参鶏湯)補足のエベレスト遠征に備へ、茶碗蒸し。75歳でも同行した藤嶋弘徳さん 世界最高峰・エベレスト登頂(68の手料理だ。おかげで頂に挑むプロキヤ、藤嶋の食配は標準3000

大潟区潟町の藤嶋弘徳さん、七十五歳でエベレスト登頂に成功したプロスキーヤー三浦雄一郎さん遠征隊のサポートで大活躍しました。

低酸素室でのトレーニングを重ね六千メートルの高所に耐えられる体力造りに精を出していました。

平成十五年には、当時最高齢でエベレスト登頂を達成した三浦隊の食料担当としても同行しました。

産経新聞五月十九日号の記事を紹介します。



遠征隊で毎日食事をつくる藤嶋さん、三浦雄一郎さんの次男、藤嶋さんに長男(影)まれた日はケーキを焼いた。エベレストベースキャンプ(白坂洋祐撮影)

## 遠征隊を支える 藤嶋さんの料理

三浦さんがベースキャンプへ戻ってきた15日の夕食にはお好み焼きと、藤嶋さんが作るのは標準500gで指にかかれるおはちって、なかつた料理ばかり。今回は和食が好評で、黒豆ひじきを放した支那入を新めていた。子供、白玉あんみつをデザートに出したりと、メニューには日々工夫が重ねられていく。高所では沸点が低いので、主として圧力鍋を使う。お湯が沸きにくく、茶碗蒸しやおムレツは特に難しいという。

食事は食後は、自備の3リットル。「ヨーロッパ」と高らかに藤嶋さんの声が響けば、各隊員が待ってまじたりばかりに、食卓で「おいしいものを食べれば、みんな笑顔になって、会話が弾む、チームワークもよくなる。おいしい栄養をとって、頂上に挑む力を蓄えたいから、食卓で笑顔を生み出したい。

「おはちって、なかつた料理ばかり。今回は和食が好評で、黒豆ひじきを放した支那入を新めていた。子供、白玉あんみつをデザートに出したりと、メニューには日々工夫が重ねられていく。高所では沸点が低いので、主として圧力鍋を使う。お湯が沸きにくく、茶碗蒸しやおムレツは特に難しいという。

食事は食後は、自備の3リットル。「ヨーロッパ」と高らかに藤嶋さんの声が響けば、各隊員が待ってまじたりばかりに、食卓で「おいしいものを食べれば、みんな笑顔になって、会話が弾む、チームワークもよくなる。おいしい栄養をとって、頂上に挑む力を蓄えたいから、食卓で笑顔を生み出したい。



ベースキャンプ（標高：5,360m）にて 左：三浦雄一郎さん、中央が藤嶋さん



ピンボジェにて 左：藤嶋さん、右：三浦雄一郎さん  
後ろはアマダムラム（標高：6,800m）



カラバタール（標高：5,550m）よりエベレストを望む

# 郷人会の行方

前関東八千浦会 会長 笠原宇美男

省みまずと平成十三年五月二十日の総会で、第四代の関東八千浦会の会長に就任してからは、七年の歳月が流れました。二期四年を過ぎた頃から、会長に相応しい後輩に席を譲るべく、何度も役員会にはかったのですが、その度に慰留されて今日に至りましたが、去る六月二十九日の総会で退任を認めさせて頂きました。

この七年間、関東八千浦会の発展と会員の方々の一層の親睦に、ひたすら努めて参りましたが、力不足のため皆様方の期待に充分添えたとは申せません。しかしながら会員や役員、それに関係各位の格別なご協力を戴き、ふるさと八千浦沿岸の自然再生、八千浦小学校の児童達への故郷の歴史や伝統と自然環境の大切さの啓蒙、八千浦会の歌の作成、そして会

員相互の親睦の向上に、いささか役立つことができたのではないかと、自負しております。

そうした活動を通じながらも、絶えず私の念頭をかすめたのは、郷人会の今日的意義についてでありました。

郷人会は、「こうじんかい」でも「きょうじんかい」でも、広辞苑をはじめどんな国語辞書にも記載されていません。これは不思議なことです。しかし今回は、それを詮索するのは措いて、現在の時点で郷人会が抱えている問題を述べさせていただきます。

先づ、会員の高齢化と会員の減少化があります。集団就職の時代が過ぎてから年を追って、故郷から関東地区への就職が激減して、会員の基盤である壮年層が

極めて少なくなったため、会員の年齢構成が極端な逆三角形をなしていることです。

二番目の問題は、故郷との時間距離の短縮による故郷感の希薄化であります。鳴くべ鳴かずの碓氷峠のトンネルを抜けて辿りついた故郷も、今では新幹線ではくほく線に乗り継いで、二時間餘りで直江津駅に降り立つことを思うと、故郷はもはや『遠く』にありて思うものなりではなくなってしまうのです。

三番目は急速な故郷の自然環境の変化についてゆけない疎外感というか、よそよそしさであります。啄木の歌にこんなものがあります。

ふるさとに入りて 先づ心傷むかな  
道広くなり 橋もあたらし

啄木は「林中の譚」の中で次のようにも述べています。『人間が自然に反逆し、常に森林を倒し山を削り河川を埋めて、然れどもその道は天に達する道にあらずして地獄の門に至る道なるを知らざるか』。八千浦地区の黒井から荒浜にかけての海浜の、日本海水化工廠の排出した石灰の公害の山は、もはや、八千浦を故里と呼ぶに値しないものになっています。



荒廃した八千浦の黒井。荒浜の海浜

人間は年をとると新しいことから忘れてゆくなど言われていますが、六十代の故郷を離れて暮す人々にとって、ふるさととは、美しい砂浜であり青い海であり、はまなすやはまえんどうの咲き乱れる母なる土地なのであります。

年を経て いよよ恋しき ふるさとの浜ひるがおの やすらう花よ  
知る人も まれになりたる  
はまぼうふう 偲ぶ故里 砂に咲く花

・宇海・

四番目は、郷人会という集いの存在の意味や意義に疑問をいだく人も少なくないということ。故郷を同じくする人々が集い合つて新年会、懇親会、遊行や会報の発行などに参加することで、何の得になるのか、参加する費用も軽視できないなどという声もあります。

さて、最後の五番目は、親兄弟や親類の死亡による故里との近親感の密度の希薄化になります。小学校の同級会なども達者で集まれる人数も年々減つてきて、開かれるのもめづらしくなつてきたことによる故里との、へだたりはますます広がつてゆきます。

以上のように考察して参りますと、郷人会の行方は極めて悲観的であります。

しかし私はこう考えるのです。私たち人間には帰巢本能というものがあつて、生れ育つた故郷を母胎として育つた人間の故郷への憧憬や郷愁は人間の遺伝子のなせる本能のしわざなのだと思います。島崎藤村は故郷の馬籠宿を訪れたとき話した言葉があります。

血のつながる ふるさと  
心のつながる ふるさと  
言葉のつながるふるさと

また、相田みつをは「父と母と二人、父と母の両親で四人、そのまた両親で八人、こうしてかぞえてゆくと、十代前で千二十四人、二十代前では……？ なんと百万人を越す人です——」。私たちは太古の縄文の時代から……過去無量のいのちのバトンを受けついで今生きているのです。大袈裟に言えば、郷人会という集いは、理屈では表現できない人間の本能や業（ごう）の所産ではないかと思われるのです。

生れ故郷を一つにする人たちが集つて、何の屈託もなく、上下の関係もなく愉快に話し合える場、かけがえない出会いを通して、生きる喜びを知る、それが郷人会であつて良いのではないかと思うのです。「人生のよろこばしこころ」の場であるべきだと思うのです。



# 刑場跡と志士たちの墓のある 南千住・浅草界限

東京浦川原会 会長 小菅俊信

五月二十五日(日)、今回の歴史文学散歩はあいにくの雨だった。午前十時に南千住駅前に集合した、小菅会長の挨拶がありスタートした。

今回は講師に三上讓先生を迎えて先導をお願いした、今回の参加者は二十一名でしたが、遠い所からも出かけて頂き幹事より感謝いたします。

最初は「小塚原」小塚原のお仕置場(刑場)跡で「こつかつばら」と呼ばれていた、江戸時代のお仕置場は品川の鈴ヶ森と千住小塚原の二ヶ所にあった。明治の初年に刑場が廃止されるまでに約二十万人が磔、斬罪、獄門などに処せられたといわれた。そこから少し先に「小塚原回向院」(浄土宗)がある。ここは死刑者・牢死者・行倒れの屍体は両国の回向院に埋葬された所といわれているが、幕府に願ひ出て別院として一寺を建立した。

浅草寺境内



次に延命地藏こと通称「首切り地藏」を通り「素盞(すさの)神社」に向かう。ここは刑石信仰の神社で境内には瑞光石がある、また元禄二年三月松尾芭蕉が「奥の細道」への門出にあたり、千住で別れを惜しんだ記念の句碑が残されている。

ここから円通寺を通り浄閑寺に向かう。この寺は江戸時代古原で死んだ遊女たち、この寺に投げ込まれるように送られて埋葬されたので、投込寺ともよばれていた。三上先生の説明によるとその数二万人を超え、過去帳によると遊女の死亡平均年齢は二一、七歳と言ふ。その年齢の若さに参加者一同はびっくりし、可哀そうに思えた。ここに「生まれて苦界、死して浄閑寺」の句碑がありさらに胸が痛くなった。

大音寺前といわれたこの地に住んでいた一葉は、母と妹の三人暮らしで、荒物、駄菓子を売る小さな店を営みながら文学修行を続けやがてその生活体験が「たけくらべ」「こりえ」などの名作を生んだ。昼食は浅草の老舗とせうの飯田屋で休息をとった、ドジョウ料理で満喫した。ドジョウは「どせう」と言う昔から四文字を嫌う。縁起が悪いことから三文字になったと言われている。

午後はずまず浅草新町周辺を歩いた、浅草本願寺に着いた、本尊の木造阿彌陀如来の立像は鎌倉時代に造られたとのこと、この境内一帯は七区に分割され、本堂周辺は一区、仲見世は二区、伝法院周辺は三区、奥山が四区、花屋敷が五区、見せ物興行街が六区、馬道西側が七区と区分されていた。六区は大正期の浅草オペラ、昭和初期の映画など芸能界をリード

した興行街となつて東京で一番の盛り場であつたことから、「六区」が浅草繁華街の代名詞となつた。

最後に雷門に到着、浅草全体の総括説明で、雷門は浅草寺の総門で寺伝では平公雅による創建で、現在地より南の駒形にあつたと伝える。焼失した後長く失われていたが昭和三十五年に切妻造で再建された。正しくは右の風神像、左の雷神像にちなんで風雷神門というのが江戸時代からすでに雷門と称されていたという。

午後四時三十分全ての行程が終了し、石田実行委員長より本日の歴史(文学)散歩の盛会と全員の無事故であつたことを挨拶し、次回の開催を約束して解散となつた。

(東京浦川原会広報部)



東京浦川原会第8回文学散歩「樋口一葉記念館」前にて

# 東京・保倉秋葉会の活動報告

東京・保倉秋葉会 会長 岩野 靖

東京・保倉秋葉会は昭和四十九年八月ふるさとで行われた「ふるさと祭り」の際、関東地域等に居住する旧保倉村出身者の会の創立を合意。

これを受け、故郷の保倉地区振興協議会は、関東地域等居住者四五〇人に通知一八人が保倉秋葉会に入会、同年十一月協議会役員等が上京、都内で創立総会を開催。保倉地区振興協議会（本部）の関東支部を承認。

五十一年五月第二回総会（川崎市）で本部からの分離を承認。保倉村象徴の山「秋葉山」を取り、保倉秋葉会と決定。

平成二十年五月第三十四回総会（都内）を開催。三十四年間の活動状況は会則の目的に照らし会員総合の親睦、ふるさととの交流等を目的に次の事業を行ってき

・会員の名簿作成

・母校の備品整備一三〇万円と図書備品寄贈

・学校等公共建物竣工式出席

・会長退任感謝状授与

・旅行

・温泉地で総会・親睦会開催等

総会・親睦会は、協議会役員や地元選出市会議員等と、ふるさとの特産物を食べ、名酒を酌み交わせ、談笑、カラオケ

大会、踊り等盛大に繰り広げ、最後に校歌を斉唱し散会が恒例。

さて、故郷も、大島・保倉・旭の三村合併、そして新潟県下三番目の大都市、上

越市へと変貌していく中で、立派な道路整備とカラフルな建物や家々の改築等、昔のイメージがすっかり様変わりした。

故郷への意識も希薄になってきている感がある。

このような現象を反映してか、秋葉会も若者の不参加と会員の高齢化と相まって、年々出席者が少なくなってきた。

故郷の都市化傾向が一層進行する中で、人間同士や隣近所の付き合いも希薄になっているといわれている。

そんな中でも、誰にもふるさとがある限り、故郷との交流が益々必要になってきているのではないかと、そう考えると、秋葉会ふるさと上越ネットワーク等の果たす役割は益々重要になってこようというもの。

故郷の振興のため、これからも、会員の増加や事業の充実等に努めて行きたい。

入会方法、会則などのお問い合わせは、〇三・一三四七四・五二

保倉秋葉会第32回定期総会



保倉秋葉会 32 回総会に出席された方々

# 遠いふる里

遠いふる里を偲ぶ会 会長 川崎 茂

「先祖旧三和村野

今から二百余年前(寛政七年)川浦代官所(現三和区)から真岡代官になった竹垣三右衛門が、村の困窮に喘ぐ状況を見て、旧三和村地区から三百戸・千七百人を移住させた史実に基づいて結成された「遠いふる里を偲ぶ会」の会長川崎茂さん(栃木県真岡市)からお便りを頂きました。

「日頃、上越ネットワーク機関誌を通じて私達の心のふる里旧三和地方の近況を把握でき大変嬉しく存じます。活動情報をお知らせ下さいとのことでしたが、「遠いふる里を偲ぶ会」は種々の事情により休会中の様な状態です。近年市町村合併により三和村の分割によって当局の交流関係者との連絡疎遠になり、私達の活動も混乱の状態です。ご理解頂ければ幸

いです。個人的には旧三和村地区こそ先祖様源流の地であると大きな誇りを持って敬慕して参り、上越市と真岡市との懸け橋に一層努力して参りたく存じます。また幸いにも、木浦市長の奥様が当地出身である関係で、親交を頂いており、毎年お盆には親族同様にお付き合いさせて頂いております。野地区の皆様には訪問しての交流を深めております。」

お手紙と一緒に真岡市の観光案内を頂きました。

Jネットの皆さん、真岡(もおか)市のお近くに行かれたならば是非真岡観光にも足を伸ばして下さい。

## 訪れてみたい祭り・催し



### 真岡の夏祭り

真岡の夏まつりは、7月20日以降の金土日の3日間、神楽、屋台が練り歩き、中日の夜は、2万発の花火に彩られます。(田町北交差点付近)



### 8/ 中旬 もおか木綿踊り



### 8/15 灯ろう流し

# NHK大河ドラマ先取りの ふるさと訪問バス旅行

頸城ふるさと会 会長 関根咲子

「頸城ふるさと会」では、去る五月二十五日・二十六日に「ふるさと訪問」バス旅行を実施しました。二年に一度実施している恒例の行事ですが、当初、今年は果たして参加者が集まるかという心配がありました。

会員の高齢化と、なかなか新しい会員が増えないという悩みがあり、行事などを企画しても、参加者が集まらないというのが最近の傾向だからです。

役員会では、最少催行人員を設定して募集してみようということになりました。しかし、今年は瞬く間に予定した定員(中型バスの乗車人員 28人)に達してしまいました。募集に際して、明年はNHKの大河ドラマに「天地人」が決定したことから、「NHK大河ドラマ」を先取りしようと呼びかけたことが、会員の参加意欲を煽ったようです。大河ドラマ

の筋書きはわかりません。上杉景勝公は米沢藩初代の殿様ですが、上杉謙信公から二代目誕生の頃がドラマになれば、私たちの故郷、上越市はもとより「頸城区」のことも取り上げられるかも知れないと期待があります。上杉景勝公が跡目相続を争った「お館の乱」では、「花ヶ崎城」雁金城が争いの舞台となったからです。

旅程は、最初は頸城区の「坂口記念館」を訪ね、ここで二時間の休憩を取ります。何といっても先ずは空腹を満たします。会員と上越市や「ユートピアくびき振興財団」の皆さんと、懇談しながらの昼食です。昼食の後には、郷里の親戚や友人と久しぶりの再会を楽しむ者、バスで雁金城跡へ行く者と二班に分かれての行動となりました。

雁金城跡と伝えられる所は、一般の観

光地と違って、十分な整備がされていませんでしたが、今でも謙信公祭の時には狼煙を上げるとの話を聞いて、当時を偲ぶことができました。素晴らしいのは、山頂から見る頸城平野に広がる水田風景でした。田植直後の水田が一面に広がる風景は、湖の中に集落が浮いているように見えるのです。

高田城址公園では、三重櫓の上って城の歴史に想いを馳せ、その夜の泊まりは赤倉温泉でゆっくり疲れを癒しました。

翌日は、春日山城址へ戻って、神社に参拝、宝物館などを見物、林泉寺では案内嬢から、寺の歴史をご紹介頂き、改めて上杉景勝公の幼少期の歴史を学ぶことができました。

帰りのバスの中では、会員も二日間の旅で打ち溶け合って、次回は「ドラマのその後」、米沢上杉藩の歴史を観光しよう、と盛り上がっていました。



林泉寺にて



雁金城跡にて

# 「第二回ふるさと探訪と交流の集い」に参加して

東京板倉会 会長 清水忠志

新緑の鮮やかな五月二十四日、二十五日東京板倉会では、第二回ふるさと探訪と交流の集い『聖窟と丈の山・山寺薬師を散策山ボウシをたずねて』が行われた。

初日は午後一時、上越市板倉区久々野にある「やすらぎ荘」に集まった。メンバーは八名、地元では懐かしい方々、寺野歴史を考へる会「板倉まちづくり振興会」皆縁等総勢三十名長寿膳弁当を食べて丈の山へ向かう。

かねてより、板倉・寺野地区のみならず県内の「有志の方々による寺野歴史を語る会」が地域の歴史と文化の再発見に取組まれ、山寺薬師→丈の山→聖窟→地すべり資料館→やすらぎ荘など「散策道づくり」が行なわれていた。前回十五名の会員が植えた「山ボウシ」今年も「山桜」が用意されていた。

紙やスコップを思いおもいに散策道へ

〇年前の昔、白雉(はくち)年間(六五〇～六五四年)に僧阿果が修験道的な山岳仏教の先達として丈六山(たけのやま)を開創したと謂われ、以来行基、裸形、紀躬高等の名僧知識にまつわる古典伝承で三寺三千坊の名蹟としてうたわられてきた(山寺薬師奉詣会由来)。

続いて今回は、上越市教育委員会副課長中西聡氏による「日本の中の上越」親鸞はなぜ上越に流されたか、が講演のテーマとして生まれお話しされた。直江津にコンパスの芯をあて回してみると日本列島の中心になるという。そして食べ物、道具、地理と文化から話し出された。親鸞はなぜ上越に流されたのか。これは面白い。伯父さんにあたる日野宗業が越後国府権介(今でいう県知事)職としてこの地に居られたのである。お公家の親鸞が当時政治犯として流罪となつたが伯父さんの経済的庇護、配慮があつたと資料をもとに語られる。板倉(郷)山寺は文化発祥の地、山寺五山の一つ猿供養寺旧蔵の銅造如来座像が今、上越市金谷山医王寺に伝わっている(当時蔵の弘法大師御作薬師如来略縁起)によれば、本蔵はもと山寺猿供養寺にあり、金谷山曼荼羅寺の塔頭である当時に移されたものという」と記されており、飛鳥時代(推古天皇五九三～天明天皇七一〇年)後期七世紀後半作重要文化財と解説され思わ

ず聞き入った。眞田様、中西様方々からおじいさんおばあさんの昔はなしの世界から、今につながる意義ある歴史の流れへと私達の頭は開かれて、上越市は昔年ら一つの郷土であると実感する。その後やすらぎ荘へ行き温泉につかる。六時板倉まちづくり振興会、寺野歴史を語る会の皆様との交流会となつた。翌日光ヶ原高原へ、高原センターから、ミスパシヨウの森までハイキング、あちこちに残雪が見られ、ふきのとうが沢山でていた。標高八〇〇mは霧と新緑おいしい空気を満喫、高原を後とする。

地元の皆様の活躍、誠意に触れ、ふるさと探訪の旅では今回も大変お世話になり、会員一同関係各位に対して厚く御礼申し上げます。

(市村喜幸 記)

植樹、ありがたいことに支えの竹と縄も用意してあり、名前付きの杭を根元に打つた。丈の山山頂には昨年植えた五本の山ボウシの木がすくすくと育っている。若葉は生きいきと黄色みをおび、下葉は緑、植えてもたつて大喜び、人が手を振るように風で葉っぱを揺らしている。その根元には名前前の入った杭が打たれていた。今年も山桜、足場のいい処に植えて行った。「存知の山桜は、山に生えているサクラの若葉が出るのと一緒に白い花が咲く、樹齢が長くいつまでも楽しめる、山そのものも守ってくれるという。全員揃つての記念撮影。

山を降りて地すべり資料館へ集まった。寺野歴史を語る会ではおなじみの眞田弘信氏による猿供養寺物語、乙法寺物語、山岳仏教遺跡を題材とする講演会に聞き入った。「存知山寺薬師は遠く一、三〇

山を降りて地すべり資料館へ集まった。寺野歴史を語る会ではおなじみの眞田弘信氏による猿供養寺物語、乙法寺物語、山岳仏教遺跡を題材とする講演会に聞き入った。「存知山寺薬師は遠く一、三〇

山を降りて地すべり資料館へ集まった。寺野歴史を語る会ではおなじみの眞田弘信氏による猿供養寺物語、乙法寺物語、山岳仏教遺跡を題材とする講演会に聞き入った。「存知山寺薬師は遠く一、三〇



丈の山山頂にて記念撮影 2008. 5. 24

# 東京牧村会の活動報告

東京牧村会 会長 岡 一一二

平成十八年秋に設立十周年を祝った当会は、総会の決議としてふるさと交流をより一層深める活動の一環として冬期に「牧つ子雪祭り」に参加すべく第一回「ふるさと訪問旅行」を計画、会員と家族及び知人を含め多数の参加を得て平成十九年二月に実施致しました。

今年第二回ふるさと訪問旅行に加え「ふるさと棚田オーナー」制度を発足させました。

●「農業体験・交流型、ふるさと棚田オーナー」

最近の自作農家の減少がふるさとの重要課題となっており、一都は牧農林業振興公社が受託生産を行っていることから、牧区と公社がタイアップしてその一部を東京牧村会の会員各位に貸し出さしとの交流を更に深めるものであります。

・一口面積 一アール(一〇〇㎡)  
・一口会費 二八、〇〇〇円  
・オーナーの特典 棚田米白米四〇kg又は玄米五〇kgの受領

以上の制度概要です。今春の田植えに一部会員が参加してスタート致しました。(今年度会員十六口)

今春すでに一部契約者も参加しての田植えも実施され、今後は刈取り等にも参加予定です。

この棚田オーナー制度は毎年継続しての交流活動とする予定でもあります。

●訪問旅行は今年も一泊二日で企画しましたところ昨年を上回る参加者を得て実施出来ました。

昨年はご承知の通り記録的な少雪の年で雪深いことで名高かつたふるさと牧区は黒々とした地肌を随所に見せており、雪像づくりコンテストは歓迎元の牧振興

会の皆さんが雪集めから苦労された様でありました。

第二回の今年は平年並みとは行かなかつた模様ですが積雪もそこそこあり、天候にも恵まれ好コンディションの元で実施出来ました。

初日は昨年同様「歳の神づくり」と夜はふるさと要職の方々多数を含む皆様との交流を深める懇親会、ふるさとの銘酒を酌み交わし、カラオケも交えて盛会に行われました。

翌日の二日目は牧区体育館前の広場で雪像づくり、ゴソゴソ飛ばし等に参加、又、数多く並んだ屋台でふるさとの味を楽しみました。

尚、雪祭り終了後公民館で開催された、三味線奏者月岡祐紀子さんによる「こせ唄演奏会」が行われ、多くの会員が興味深く聞き入っておりました。

●昨年のごとくが牧村出身の栗津キヨさんの幼少時代を映画化した「ふみ子の海」は多くの方々に感動を与えた映画でした。新潟県人会の後援もあり、公開前に東京牧村会としても会報に三頁の特集PRで会員動員に協力、更には県人会主催の東京上野の東天虹を会場にしての有料試写会では岡会長が応援団長として活躍され、郷人会各位の協力を得て五百人近くの動員に成功、お招きした主演の鈴木理子さん、近藤監督それに栗津さんのお

二人のお嬢さんにも、感動頂きました。また公開初日には多くの会員の鑑賞がありました。

ふるさとでの興行も大成功であったと木浦市長からもお伺いし喜んでいらっしゃる次第です。

(文責 三浦資郎)



田植に参加の棚田オーナー



# 第六回文化講演会

上陸市文化財調査委員会委員長  
元 新潟県文化財保護指導委員

植木 宏

## 上杉謙信公

その人物と信条から学ぶ

群雄が蜂起し、打算と功利の激しい戦国の世に、都から遠く離れた越後に在って精一杯生き抜き、敵将からも称賛された。純粹なものと考え方をし、慕道心を抱き、義侠心富む英雄だった。当時「越後に上杉謙信あり」と全国から注目され、その名を馳せるに至ったいきさつは、人間としての信念と、勇氣と、豊かな人間性の中から生まれたものと思われる。

越後の聖将上杉謙信。その生いたちと修養、そして心に誓った人生訓(家訓)や、臨戦信条などを追ってみよう。

## 謙信の生いたちと修養

謙信は享祿三年(一五三〇)一月二十一日、戦国時代後半期の乱世を背負わざ

れて、春日山城の御屋敷で呱呱の声をあげた。父は越後守護代長尾信濃守為景、母は同族の栖吉城主(長岡市)：長尾氏の娘といわれる。幼名を虎千代といった。

戦乱の世に生を受けた謙信は、慈悲救世を本願とする観音菩薩に帰依する母の感化と、十六才で初陣してから戦場にまみえること一〇〇余回という父の影響を受けながら成長した。特に自らは一間四方もある城郭模型で人形を操りながらの城攻めや、野戦の遊びに興じ、近所の餓鬼大将だった。

天文五年、七才のときに城下の曹洞宗林泉寺へ修行に入れられた。林泉寺は、謙信の祖父能景が自分の亡父重景の供養のために建立した寺である。十四才まで名僧天室光育のも、とで厳しい禅の修行と文武の薰陶を受けた。名將謙信の人間の基礎は、このころ培われたものであろう。謙信が林泉寺に入山した年の暮れに、

父為景は病死したが、喪に乗じて逆徒が迫り、謙信は身に甲冑をつけて悲痛な葬送に参列した程だったという。この現実が修行中の謙信には終世の多大な刺激になり、菩提心をおこさせ、求道の志を心に植えたようである。

戦乱に明け暮れた謙信が、天下取りを望まず、完全な戦国時代の武將になりきれなかった所以は、このような生い立ちにあるような気がしてならない。

十四才で元服し長尾景虎といい、二十四才のとき、京都大徳寺の撒岫(てっしゅう)宗九禪師から法号を授けられ、宗心と称し有髪の僧となる。三十二才のとき、関東管領上杉憲政から家督を継いだのを機に政虎と改名し、以後は上杉姓を名のつた。さらに同年暮れに、室町幕府十三代將軍足利義輝から菊桐紋章の使用を許され、牌虎と改名した。四十一才の暮れに、林泉寺七世宗謙のとき、法号を改め謙信と称した。

## 謙信と文芸

謙信は学問と文芸を好んだ。常に儒学者を左右に待って四書・五経(中国の儒学者の講義を受け、ときに老荘諸子(中国の哲学者)の学説も学んだ。また戦陣においても随行の僧・連松に孟子(四書の一)を書き写させたという。連松は



書道の大家で府中(直江津)にあった安国寺の名僧だった。さらに文芸では、和歌をたしなみ、書道にも堪能だった。林泉寺の「第一義」。「春日山」の額を見て、その麗筆に感嘆する。また茶湯や能、笛などにも趣味をもっていた。茶道は武野紹鷗(しゅうおう)と千利休を師として学んだという。陣中にあっても一節笛(ひとよぎりのふえ)を吹き、能を舞い、強敵を前にして悠々と歌を尽くしたほどである。

## 謙信の家訓と臨戦信条

戦国大名は、支配する領国を統治するために、制定した施政方針や法令を「分国法」と呼んだ。謙信公には分国法と銘うったものは見あたらないが、謙信の家法として伝えられている次の条文があ

る。

- ①心に物なきときは心広く体素かなり
- ②心に我儘なきときは愛敬失わず
- ③心に欲なきときは義理を行う
- ④心に私なきときは疑うことなし
- ⑤心に驕なきときは人を教う(すくう)
- ⑥心に誤りなきときは人に畏れず
- ⑦心に邪見なきときは人を育つ
- ⑧心に貪(とん)なきときは人に諂う(へつらう)ことなし
- ⑨心に怒なきときは言葉かなり
- ⑩心に堪忍あるときは事を調う(こと)のう)
- ⑪心に曇なきときは心静かなり
- ⑫心に勇あるときは悔むことなし
- ⑬心賤しからざるときは願ひ好まず
- ⑭心に孝行あるときは忠節厚し
- ⑮心に自慢なきときは人の善を知る
- ⑯心に迷なきときは人を咎めず

この家訓を少し解説すると、①は自分の心に下心(野心)のない時は、心がおちからかてゆつたりしていられる。③は自分の心に妄な欲望のない時は、正しい筋道で行動できる。⑥は自分の心に間違いがなければ、他人におびえることはない。⑩は他人を許す心、我慢する心があれば、全体のバランスをとることができる。⑪は自分の心にあさましさがなければ、妄な望み事はない。⑮は自分の心にお

が、おれがという気持ちがないときは、他人の良さを知る。など。

これらの家訓を見ると、今の社会にこそ必要な、人生訓の極致を説いている。謙信は勇将であるのみならず、人間の師として堂々たる学者でもあった。

永禄九年、謙信三十七才のとき、春日山城内に壁書したと伝える、臨戦信条ともいえる言葉がある。

「運は天にあり。鑑は胸にあり。手からは足にあり。いつも敵を掌に入れて合戦すべし。疵付く(きずつく)ことなし。死なんと戦えば生き、生きんと戦えば必ず死するものなり。家を出づるより、帰らじとおもえば又帰る。帰ると思えば是亦帰らぬものなり。武士たる道は不定と思ふべからず、一定と思ふべし。」と記した。

この言葉には宗教的な意味が含んでいるが、戦場に臨んでは「死の中に生あり、生の中に生無し」として、一切の心のこだわりを断ち切り、無私の境地を遺還する禅機を説いたものである。

また、春日頃の言に「我は少しも天下に望みなし、ただ軍陣に臨み、機を見て敵を破る。これ我が本分なり……」。陣頭に常に必勝を期し、功名利達のこときは、あえて念頭に置かなかつたのである。

春日山城内の本丸近くに、諏訪社や毘沙門堂を建て、また不識庵を設けて、一心に修養祈願していた。生涯妻妾をもつ

ことなく、みずから毘沙門天王の化身と信じて、不正悪魔を降すべく戦場にのぞんだ聖将のおもかけを偲ぶ言葉である。

謙信は、身は俗界にあつて、心は仏界にいる心境だつたのであろうか。

おわりに

上杉謙信公。その人物と信条の一端を紹介した。思えば、十四才で元服し、兄晴景の命で初陣。栃尾城にあつて下越後方面を平定し、十九才で春日山城主となつた。以降四十九才で生涯を閉じるまで三十五年間、南征北伐、関東への出陣十回以上を数え、身の休まる日がなかつたにもかかわらず、心を学問に潜め、文芸の趣味に深かつたことは、人格の崇高なるを想望させる。

天正六年(一五七八)、謙信は関東の平定を決意し、一月十九日領内の将士に出兵の指令を出した。出陣の日を三月十五日と定めて準備をしている矢先、三月九日突然春日山城内で病に倒れ、同十三日帰らぬ人となつた。死因は脳溢血といわれている。

死の一ヶ月前の二月に、京都より画工をまねき、寿像を描かせ、その題詞として次の一首を賦した。

四十九年一睡夢 一期榮華一盃酒  
生不知死亦不知 歳月唯是如夢中

自ら精一杯生き抜いた一生を振り返つた。

私達も謙信公の生き方に学び、日常生活を堂々と闊歩できる人間でありたいと願う。

新潟県出身の彫刻家、千野茂さんの作、氏は製作にあたって「勇猛と仁愛の際立つた二面性のある」と思われる謙信公の後者を表現すべく意図した」とのべておられる。



謙信公座像

# 中世の山城は今

## 上越地方の山城とその特色

### 【中世の山城とは】

毎日何気なく歩き、登り、耕している身近な土地に、また何百メートルかの山上に、中世の古城跡が残されている。中世という時代は、武士が政権を握り活躍していた時代である。その武士が拠り所としたのが「城」であった。

城といえは、一般的には、見上げる天守、きらびやかな建造物、立派な石垣、満々と水をたたえた濠などを持つ、姫路城や名古屋城などの大城郭を考えがちである。しかし、これは近世の城であって、城のすべてではない。中世の城は「要害」であって、土地がけわしく、守るのによい場所、すなわち山岳丘陵等の起伏が激しい天険の山頂や山腹を利用して、大々的に空堀や土塁、削平地などの土木工事で要害をつくり、山麓に居館を置くのが一般的で「山城」と呼ばれている。

城の語源が「土をもって成る」とか「土を盛るといふ意味からきているように、堀は土を掘り、塁はその土をかき上げてつくられるもので、堀と塁とは、山城を構成する最も基本的な防衛施設である。

武家文化における城郭の意義は、社会

生活の平和と安全を保つための設備である。風雲急を告げる乱世になればなるほど、城そのものに期待する度合いは大きくなり、まして、我が国の歴史上にあらわれる弱肉強食の戦国争乱期ともなれば、城そのものは抵抗力の増加に期待をかける築城でなければならなかった。築城によつて発揮される威力の前には、敵が簡単に近寄れず、その間に援軍の着到、あるいは敵方に不利な変化を生ずることも考えられ、運の開く場合の少なくないことは、歴史を通じて先賢諸氏の説かれているところである。

また、城郭調査にあたっては、周辺地域の城や環境を無視して、ただ一カ所の城郭だけを究明し論ずることはできない。交通路や経済面、さらに本城と支城との関係なども明らかにし、放射線状にのびる広汎な地域を対象としての調査が必要となる。

新潟県内には、中世の城や館の跡が非常に多く、現在、その遺構が確認されている数は一〇〇〇カ所以上にのぼる。その内、上越地方には約一六〇城館が存在する。今後の調査で、見張り場や番所のろし場などを含めれば、その数はさらに多くなると思われる。

山城としては、春日山城が代表的であるが、上越地方には、鮫ヶ尾城、鳥坂城（新井市）、箕冠城（板倉町）、直峰城（安

塚町）、顕法寺城（吉川町）、猿毛城（柿崎町）、徳合城（能生町）、不動山城・根知城（糸魚川市）、勝山城（青海町）をはじめ、立派な中世の山城跡が多い。

かつて武士たちの居館や戦時の要害として活躍した揚所も、時代が流れるに従い、知らぬ間に人々の心の中から消え去ってしまった。しかし、当時の面影は城腰（柿崎町）や要害（糸魚川市）などの集落名として残り、また、城に利用された山の頂上や中腹には、今もその遺構を留めている。

城館と関係あつた地には、小字名や通称名、俗称名として今に引き継がれている所も多い。城・城ヶ峰・城平・城ノ内・城ノ外・城ノ腰・高城・城ノ下・古城・大峰・御館・館ノ腰・館の内・尾立・馬場・狼煙場・物見場など数え上げれば際限がない。

### 春日山城と周辺砦群の配置

春日山城の城域を、さらに取り巻く周辺砦群の存在がある。

現在、周辺には、一〇数カ砦が確認されている。これらの砦が、春日山城にいかなる作用をもたらしたかを考えてみたい。

### 【放射状に広がる砦群】

春日山を取り巻く周辺の山並み（半径四キロメートル前後）に点在する砦として、春日山城から二キロメートル周辺内に、番屋口・番屋・長沢・長池山、東城の五砦と権現堂三キロメートル周辺内に、沖見・長浜・トヤ峰の三砦、四キロメートル周辺内に城ヶ峰・宇津尾・滝寺の三砦、御館・および毘沙門堂・陣取場、さらに五キロメートルに中ノ俣砦がある。各砦を地形図上に置いてみると、春日山城を起点とする放射線上の要地に配置されていることがわかる。

これら一〇カ所の砦は、いずれも春日山城周辺の尾根要地や中継連絡を必要とする所に配置されており、砦分布区は、春日山城の身近な食料・薪炭供給地として、必要不可欠な城付きの地区であつた。もし、春日山城が攻撃され、最悪の「籠城」になつた場合には、食料・薪炭源などを守るため、春日山城としては絶対に離すことのできない、運命を共にする砦群だつたのである。なぜなら、これらの砦は、その距離や普請、配置などに一城独特の構えは無く中心城（春日山城）に付属することで存在が認められ、かつ各砦間の相互関係を充分計算に入れた普請になつている。これは、一砦としての構えは弱くても、それが集団になつてお互いに作用し合うとき、強力な備えになることを教えている。

## 春日山城を守った頸城の支城群

春日山城を取り巻く四〜五キロメートル周辺内の、山並みに存在する多くの砦群と、春日山城との関連については、すでに述べてきた通りである。

ここでは、さらに輪を広げて、春日山城を守った頸城の支城群の配置について説明をしよう。

### 【高田平野を取り巻く支城群】

春日山を基点に、半径十五キロメートルの円を地図上に引くと、そのラインは高田平野を狭んで、南葉山系から関田山脈や東頸城丘陵の末端に山裾とほぼ一致する。今の行政区分に合わせると、上越市を中心に名立町・新井市・板倉町・清里村・牧村・三和村・浦川原村・頸城村・大潟町などにその範囲が及ぶことになる。

この十五キロメートルラインの山裾から丘陵にかけて、一〇〇カ所を超える城砦が、春日山城を要にして輪を描くような点々と存在する。いわゆる高田平野を取り巻く支城砦群であるが、この地内は、戦国時代に春日山城の食料や薪炭などの物資供給源として、敵の侵入を絶対に許すことのできない必要不可欠な要地であった。

春日山城から十五キロメートル前後の

ライン、すなわち丘陵山裾を中心に、城砦が点々として輪をえがくように配置されている。これらの城砦は、それぞれに深い歴史を秘めていると思われるが、上杉謙信時代に合わせて考えれば、春日山城の死活を左右する大切な生命線だったのである。前述の春日山城を取り巻く砦群の存在が、春日山城を防備する第一次防衛線とすれば、この頸城の支城砦群は、第二次防衛線になる。

また、これらの城砦は無造作に配置されているのではなく、複雑な山並みを開析する多くの谷あいや川、道路を計算に入れた築城だった。さらに重要な地区には拠点城を置き、その周辺に衛星砦を設けて、一つのまとまったサークルを形成させる所もあった。黒田城・鯨ヶ尾城・鳥坂城・箕冠城・京ヶ岳城・池舟城・大間城などは、高田平野を取り巻く支城群の中でも、その規模や周辺の砦群、立地条件などから、拠点城だった可能性が高い。春日山城の支城であるが、またその周辺グループ砦の基点城となり、「伝えの城」として本城と支城との連絡城であった。

### 直江兼統公の足跡

幼少にして上杉謙信の薫陶に触れ、謙信没後は、上杉氏を相続した謙信の養子

春日山城と周辺の砦群 (調査 榎木 宏)



景勝に重用され家老として内政外交両面で活躍した。

時あたかも、時代が中世から近世的社会と変わっていく動乱のなかで、主君景勝は豊臣秀吉の命で越後春日山城（新潟県上越市）から会津（福島県）一二〇万石に移され、その後、天下分け目の関ヶ原の戦いにおける戦後処分、徳川家康によつて米沢山形県三十万石に封じられた。この大変革に直面しながらも、兼統は上杉氏の家宰的地位にあつて、時の情勢判断や政治の駆け引きに見事な手腕を発揮し、上杉家の存続に功をなした。兼統の各分野での立ち回りは、まさに、「景勝政権は兼統なくして存在せず」の感がある。

かつて豊臣秀吉に「天下の政治を安心して預けられるのは直江兼統など数人」といわしめ、徳川家康とも理（物事の筋道）をもつて堂々と渡り合ったといわれる「直江状」など、將軍家康すら恐れた名將だった。きびしい武士の世界を生き抜いた直江兼統の人間像とその足跡の一端を追つてみたい。

## 生い立ちから景勝の側近・執政へ

兼統は、永禄三年（一五六〇）樋口惣右衛門兼豊の長男として、越後国魚沼郡上田庄坂戸城下（新潟県魚沼市）で戦国乱世の末期に生を受けた。母は信濃国（長野

県）の武將泉弥七朗重蔵の娘といわれる。幼名を与六といい、元服して兼統、のち重光といつた。弟二人、妹三人いた。

樋口氏は、家系図「中原姓樋口家系図」によると、木曾義仲に仕えた四天王の一人、樋口次郎兼光の子孫で、兼光の弟に今井四郎兼平、また巴御前がいる。兼統の曾祖父兼定のとき、越後に来て上田長尾氏（城戸城主）の家臣になつたと伝える。

兼統の父兼豊は、坂戸城の台所で薪炭用人を務めていた。幼い兼統（十歳前後）は父に連れられて、よくお城に入りました。はきははして行儀も良く、利発な行動をする子供だったので、城主長尾政景の奥方仙桃院（謙信の姉・景勝の母）の目に留まった。その才能を見込んで喜平沼（景勝）の近習として立派な付き人になれると判断した。幸いに先祖は木曾義仲の四天王の一人だったこともあり、仙桃院の計らいで五歳年上の景勝と出会うことになった。

この二人の少年、長尾喜平治（景勝）と樋口与六（兼統）は君臣の関係ではあつたが、びつたりと呼吸の合った交わりで、共に謙信の人間性に触れながら成長した。そして謙信没後は、上杉家の歴史に大きくかわる上杉景勝とその側近直江兼統になる。もし、仙桃院にその才能を見い出されなかつたら、後世に伝えられる偉

大な直江山城守兼統という人物は存在しなかつたかも知れない。

## 兼統 直江家を相続

兼統が直江家を継ぐきっかけになつたのは、天正九年（一五八一）九月春日山城中で、直江信綱が殺害された事件だった。それは、毛利秀広が御館の乱の戦いで、戦功があつたのに恩賞がなかつたのは、景勝の重臣で儒者の山崎秀仙のせいだと恨み惨殺した。これをみて、側にいた直江信綱は秀広が斬りかかつたが逆に殺害されてしまった。信綱にとっては恨まれてもいないのに、とんだ災難になつた。

直江氏の出自は、遠く大化改心の功臣として知られる藤原鎌足の流れといわれ、頸城郡直江庄を賜つてこれを姓としたと伝える。

直江信綱の義父、実綱（のち景綱）は、長尾為景、晴景・上杉謙信の三代に仕え、特に謙信の重臣として政治・外交などに活躍した（与坂城主）。景綱に嫡男がなかつたので、上野国（群馬県）から長尾景貞の子信綱を養子とし、景綱の娘お船を妻にした。

信綱には子供がいなかつたので、景勝は名家の跡の絶えるの惜しみ、樋口兼豊の長男与六兼統に命じて、信綱の未亡人お船の婿とし、直江家の跡を継がせたの

である。と同時に、有能ながらも門閥を有さない兼統の取り立てでもあつたのであろう。

時に兼統二十二歳、お船二十五歳であつた。天正九年十月頃、兼統は直江家の居城である与坂城（三島郡）に城主として入つた。山城守を称し、戦国大名上杉氏の家宰として、檢地惣奉行、藏入地奉行など強力な権限を与えられ、徐々に上杉氏の直面する重要案件に関わつていくことになる。

## 兼統の奥方・お船の方

兼統の奥方、お船の方は兼統より三歳年上で一度未亡人となつた人であるが、兼統は彼女を非常に愛し、仲睦まじい夫婦だった。お船の方はなかなかの賢夫人で、鎌倉時代に尼將軍といわれた、北条政子に似ているといわれた人である。景勝の嗣子定勝は生後間もなく母が死去したため、直江夫人が養育に当たり、春日局張りに奥向きの采配も任されていた。

兼統の死後は、扶助料三千石という未亡人としては稀な高禄を賜わり、武装した手明組四十人も従属されたという。藩主からも「山城守相承て侯とも大小の事ども後室（お船の方）へ相計られ候よし」といわれ、米沢藩政にも参与した優れた夫人だった。

## ↑上杉景勝について↓

ここで兼統の主君になる景勝について少し述べておきたい。

上杉景勝(一五五五〜一六二三)安土桃山・江戸時代前期の大名。越後春日山城主、会津若松城主、出羽国米沢藩主。弘治元年(一五五五)に生まれる。卯年だったので幼名を卯松と稱した。父は坂戸城主長尾政景、母は越後守護代春日山城城主長尾為景の娘(謙信の姉)である。坂戸城内で政景の次男として誕生。

永禄七年(一五六四)十歳のとき、政景は野尻池(湯沢町)で琵琶島城(柏崎市)主手佐美定満と舟遊中に溺死。野尻池の姿した。父の死後は、叔父謙信の庇護を受け、養子となり喜平次頭景と名のつた。謙信は頭景を非常にかわいがり、養父子の間は、尊敬と愛情の温かい絆で結ばれていたようである。

元龜二年(一五七二)三年頃、春日山城に移ったという(国史大辞典)。十七、八歳の頃である。

兼統もこの頃春日山城下に入ったのではないかと推測される。ただ、残念ではあるが、謙信時代、また謙信死後の「御館の乱」(謙信死後の景勝、景虎の相争い)中における兼統の行動を史料から明らかにすることは、現状では難しい。

天正三年(一五七五)一月、二十一歳の

とき、上杉の名字、景勝の名前、彈正少弼の官途を与えられる。そして、「上杉家軍役帳」では筆頭の地位を占めた。

天正六年(一五七八)、謙信死後の「御館の乱」で反抗する勢力を撃破し、天正八年八月争乱を収め、兼統を執政として専政支配の基盤を確立した。

### 兼統の活躍(主なもの)

■御館の乱・天正六年(一五七八)、謙信死去後、養子の景勝と景虎の家督相争い。兼統は景勝の近習として勝利に活躍。天正八年「兼統」署名初見。

■新発田城攻略・天正十五年(一五八七)、新発田重家は御館の乱の恩賞不滿で景勝に背き、信長に還す。

■佐渡の本間一統を征服・天正十七年(一五八九)、佐渡は本間一族が割拠し抗争が続いていたが、景勝の領国となった。兼統を中心とした上杉氏の支配。

■朝鮮出兵・文禄一年(一五九二)、兵五千人で肥前名護屋城(佐賀県唐津市)へ。兼統の陣屋は景勝とは別に与えられ同規模。朝鮮滞在一年三ヶ月。

■検地・文禄四年、慶長二年(一五九五、一五九七)、越後国内の検地で兼統中心になり実施。

■会津転封・慶長三年(一五九八)一月、景勝は秀吉より会津二〇万石に移封を命じられる。兼統は米沢城三十万石を領す。同五年二月頃より景勝、神指原に新城建設始める。家康、景勝の上洛を強要、兼統、直江状を以って家康の要求を拒否。同年九月関ヶ原戦で東軍大勝。景勝敗者となる。

■米沢転封・慶長六年(一六〇二)、景勝三十万石に減封されて米沢城へ移される。移封後の課題は城下町の建設だった。兼統が総監として総指揮をとる。最上川に直江石堤、鉄砲の導入、青学の奨励など。

■文人兼統・好学の武将として知られる。中国の史書や古典、五山文学、連句会、直江版文選など。

■「愛」の前立て・愛民の精神か、信仰か。

元和五年(一六一九)十二月十九日、江戸で没、六十歳。林泉寺(米沢市)に眠る。高野山清浄心院に分骨。



直江兼統 (米沢市上杉博物館蔵)



## 文化講演会後の 懇親会風景

平成20年5月24日  
於「アルカディア市ヶ谷」





# 東京サロン

湘南センチメンタルジャーニー

多摩市 小林俊弥（直江津西本町出身）

先日、私が思いがけず湘南へ出かけた  
思い出をお話します。

3月のJネットサロンに参加させてい  
ただき、その後お決まり(?)の中華料  
理屋での二次会で相川さんと野田さん  
お二人と同席になりました。その際に、野  
田さんから相川さんが辻堂に「自身で描  
いた絵を展示するギャラリー」を開設して  
いるので見学に行かないかとお誘いを  
受けました。

辻堂(湘南)は、私には思い出の場所  
で大学を卒業し新入社員として就職した  
時、小田急線の片瀬江ノ島駅のすぐ横に  
独身寮があり、その寮に私は六年も住ん  
でいました。

野田さんの話を聞いてすぐに浮かんだ  
のが江ノ島の独身寮のことです。その独  
身寮は、会社の事情で建売住宅会社に売  
却され、壊されて今は建売住宅として販

売されたと聞いていましたので、その後  
寮がどうなったのか自分の目で見たく  
なつたのです。

四月の土曜日、十一時に辻堂駅で野田  
さんと待ち合わせし、相川さんのギャラ  
リーをお訪ねし数々の作品を見せていた  
だけ、その後ワインで乾杯し楽しく歓談  
しました。

時間も三時となり、天気も良いので酔  
い覚ましに江ノ島まで海岸を散歩しよう  
ということになり、三人で江ノ島まで散  
歩しました。その途中で思い出の独身寮を  
見に行きました。独身寮があつた場所は  
洒落た住宅二棟と空き地になっていまし  
た。そのあと江ノ電の江ノ島駅近くにあ

る龍口寺で桜をみて、腰越の漁港近くに  
ある白魚の専門店に入り新鮮な白魚のお  
刺身・天ぷらと冷酒を堪能しました。夕  
暮れになり、相川さんと江ノ電の江ノ島

駅でお別れし、野田さんと江ノ電で帰宅  
の途につきました。思いがけず青春の思  
い出がいつばいの江ノ島を訪れることが  
出来た私の「湘南センチメンタルジャー  
ニー」の一日でした。

Jネットサロンに参加(まだ一年くら  
いですが)して一番感じるのは、二十代  
から八十代まで世代を超えて(?)同じ  
上越出身者というつながりで広がった  
「人の輪」の不思議さです。Jネットサロ  
ンの魅力は、毎回上越の珍しい地酒や郷  
土料理が食べられるだけでなく、様々な  
人との出会いの面白さにあると思います。  
(特にケテモノ好きの方におススメで  
す！)

東京サロンは毎月第2水曜日、渋谷駅  
近くの(株)社会システム研究所の会議  
室をお借りして、開催しております。

お問い合わせは、電話〇三三三四九九  
―八二九九まで。



右端が小林さん

# 名古屋サロン

今年の名古屋サロンは九月二十七日(土)に開催致します。

名古屋地区をはじめ関西地区の会員の方、また上越にご縁のある方、お誘いの上是非お越し下さい。

日時 平成二十年九月二十七日(土) 十  
八時より(集合十七時五十分)

会場 名古屋マリオットアソシアホテル

(JR名古屋駅ツインタワー)十五階

コーヒーショップ「バーゴラ」

TEL〇五二一五八四一一四〇

(バーゴラを呼んで下さい)

会費 四、五〇〇円

申し込み、問い合わせ先

Jネット事務局



昨年のスナップ



# 近畿地区（大阪）サロン

例年十二月上旬に「大阪弥生会館」で開催しております。

残念ながら、ここ数年参加者の減少が見られます。

ご一緒に上越を熱く語りましょう。

今年の開催予定日は未定ですが、詳しくは月々の「お便り」でお知らせします。

関西の皆様、大阪サロンについてのご意見を下さいませんか。



昨年のスナップ



# ふるさと市場

通信販売カタログ（平成19年秋号）

●印は産地の区を示しています。  
生産した地点ではありません。

⑧特撰コシヒカリ



⑦名立のコシヒカリ



⑨朝日池の有機米



⑩減・減コシヒカリ

⑪安心、安全県認証  
雪中貯蔵コシヒカリ



⑫慣行栽培コシヒカリ

⑬コシヒカリ減農薬  
減化学肥料栽培



⑬ 恵みっ子



⑤米本陣



⑥清里産コシヒカリ



④牧産コシヒカリ  
しがねもち



⑬有機栽培米・特別栽培米  
コシヒカリ



⑮蒲川原産  
コシヒカリ



②おおしま育ち

## ■お問い合わせ

上越市役所企画政策課内

Jネット事務局電話

025-526-5111（内線1447）

## ■注文方法

「Jネット会員専用注文用紙」で事務局宛

FAX(025-526-8363)にお送り

下さい。※会員の方は送料無料です。

米山山地、東頸城丘陵、関田山脈、南葉山地、西頸城山地など、上越市をとり囲む山々からの雪解け水で育まれた上越米。上越地域では、米を栽培するにあたって、農業や化学肥料を減らす取り組みに、地域一丸となって取り組んでいます。「上越米」は、ふるさとからお送りする安全・安心なお米です。

## 【1】(農)源広域生産組合

①-1 こしひかり減農薬減化学肥料栽培 《5kg》3,500円

## 【2】(財)大島農業振興公社

②-1 おおしま育ち 白米 《5kg》2,800円

②-2 おおしま育ち 白米 《10kg》5,600円

## 【3】(財)牧農林業振興公社

③-1 牧産コシヒカリ 100% 《5kg》2,800円

③-2 牧産コシヒカリ 100% (7分づき) 《5kg》2,800円

③-3 牧産こがねもち 100% (限定36個販売) 《5kg》2,800円

## 【4】味の謎蔵 特選米販売部

④-1 さんわ産純粋コシヒカリ 《5kg》3,300円

④-2 さんわ産純粋コシヒカリ 《10kg》6,000円

## 【5】(有)グリーンファーム清里

⑤-1 清里産コシヒカリ 《5kg》2,400円

⑤-2 清里産コシヒカリ 《27kg》10,500円

## 【6】(有)名立テクニカルファーム

⑥-1 名立のコシヒカリ (白米) 《5kg》2,500円

⑥-2 名立のコシヒカリ (白米) 《10kg》5,000円

## 【7】(農)大潟ナショナルカントリー

⑦-1 特選コシヒカリ 《5kg》2,900円

## 【8】(有)朝日池総合農場

⑧-1 NPO法人赤トンボ認証 JAS・有機栽培米コシヒカリ100% 《5kg》3,500円

⑧-2 新潟県認証栽培米コシヒカリ100% 《5kg》2,900円

※商品説明は会報24号をご覧ください。

## 【9】柿崎雪むろ利用組合

- ⑨-1 新潟県認証コシヒカリ 《5kg》3,200円
- ⑨-2 新潟県認証コシヒカリ（雪中貯蔵米）《5kg》3,450円
- ⑨-3 新潟県認証コシヒカリ（雪中貯蔵・無洗米）《5kg》3,500円
- ⑨-4 慣行栽培コシヒカリ 《5kg》2,500円
- ⑨-5 慣行栽培コシヒカリ（無洗米）《5kg》2,550円

## 【10】頸城建設（株）不動農産部

- ⑩-1 NPO法人赤とんぼ認証 JAS有機栽培米コシヒカリ ハサ賭け《1kg》1,600円
- ⑩-2 NPO法人赤とんぼ認証 JAS・有機栽培米コシヒカリ 《5kg》6,000円
- ⑩-3 有機肥料による農薬・化学肥料を使わないコシヒカリ 《5kg》5,500円
- ⑩-4 有機肥料による化学肥料を使わない減農薬コシヒカリ 《5kg》2,600円

## 【11】（財）浦川原農業振興公社

- ⑪-1 浦川原産コシヒカリ 《5kg》2,500円
- ⑪-2 浦川原産コシヒカリ 《10kg》5,000円

## 【12】正善寺工房（NPO法人 食の工房ネットワーク）

- ⑫-1 ㈱アフラス認証センター認証（以下、センター認証）  
JAS・有機栽培米コシヒカリ100% 《5kg》4,200円
- ⑫-2 センター認証 特別栽培米コシヒカリ100% 《5kg》3,675円
- ⑫-3 新潟県認証 特別栽培米コシヒカリ100% 《5kg》3,255円
- ⑫-4 慣行栽培米コシヒカリ100% 《5kg》2,940円
- ⑫-5 無洗米慣行栽培米コシヒカリ100% 《5kg》3,040円
- ⑫-6 センター認証 特別栽培米 紫黒米（もち米）《1kg》1,575円
- ⑫-7 センター認証 特別栽培米 こがねもち（もち米）《2kg》1,575円
- ⑫-8 センター認証 特別栽培米 紫黒米（うるち米）《1kg》1,575円
- ⑫-9 センター認証 特別栽培米 低タンパク米（春陽）《5kg》3,675円

※商品説明は会報24号をご覧ください。

# 上越後ふるさと市場

(上越商業サービス公社取扱い)

ふるさとの味は如何ですか

富士屋商店

分類:海産

上越市大字土橋2290番地

TEL 025-523-3463

FAX 025-524-5459

mail:kosuge@seagreen.ocn.ne.jp

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
011	塩するめ	2L 5枚	3,000円	厳選したイカを天日塩を使い、丁寧に作りました。そのまま焼いたり、天ぷらにして楽しんで下さい。	クール 通年
012	塩するめ	M 5枚	1,800円		クール 通年
013	丸干いか	500g	1,300円	炙る程度に焼いてください。中のワタとからめていただく深い味わいがあります。	クール 通年

魚住かまぼこ店

分類:海産

上越市春日新田5丁目19番18号

TEL 025-543-2438

FAX 025-544-5092

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
021	昆布巻蒲鉾 (かまぼこの生身を幅広のだし昆布で巻いた蒸し蒲鉾、真空包装)	250g	670円	原料スリミのたら・いとよりも最高ランクSA級。昆布は道産真昆布の1等級を使用。	クール 通年
022	板なし明太子入り蒲鉾 (かまぼこの生身に辛子明太子を混ぜて練り、蒲鉾型に成型した蒸し蒲鉾、真空包装)	250g	560円	蒲鉾の旨みと明太子の味がマッチ。チョッピリ辛めで、ビールのお供に最適。	クール 通年
023	板なしかに入り蒲鉾 (かまぼこの生身にズワイガニのほぐし身を混ぜた蒸し蒲鉾、真空包装)	250g	650円	かにの旨味、かまぼこの歯ざわりのよさ。美味。評価高い。	クール 通年

平八

分類:海産

上越市木田3丁目8番48号

TEL 025-524-3330

FAX 025-524-3352

mail:heihaichi@heihaichi-kamaboko.com

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
031	きくらげ小板	220g	493円	独自に味付したきくらげと蒲鉾の食感が良く合います。	クール 通年
032	鮭小板	235g	850円	天然銀鮭を下ごしらえし五目蒲鉾の上のせた板付蒲鉾	クール 通年
033	穴子巻	250g	1,050円	活穴子をたれ焼きにして五目蒲鉾の身にのせず巻きにした手巻蒲鉾	クール 通年

岩の原葡萄園

分類:醸造

上越市北方1223番地

TEL 025-528-4002

FAX 025-528-3530

<http://www.iwanohara.sgn.ne.jp>

mail:iwanohara.sgn.ne.jp

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
041	深雪花セット	720ml 各1本	4,432円	フレンチオーク樽でじっくり熟成させたまろやかな赤ワインと、自然清澄と低温発酵で爽やかに仕上げた白ワイン。	常温 通年
	深雪花(赤)、深雪花(白)、化粧箱入り				
042	スベリユールセット	720ml 各1本	3,360円	豊かな果実味と深みのある味わいの赤ワインと、はちみつを想わせる香りと豊かな酸が織り成すキラめく口当たりの白ワイン。	常温 通年
	スベリユール(赤)、スベリユール(白)、化粧箱入り				
043	フルーティセット	720ml 各1本	2,272円	もぎたて葡萄そのままの香りと、みずみずしい口当たりが特徴のフレッシュ&フルーティなワイン。	常温 通年
	フルーティージュ(赤)、フルーティブラン(白)、化粧箱入り				

田中酒造

分類:醸造

上越市大字長浜129番地1

TEL 025-546-2311

FAX 025-546-2433

<http://www.16.ocn.ne.jp/~noutaka/home.html>

mail:noutaka-tanakashuzou@eos.ocn.ne.jp

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
051	大吟醸 能鷹	720ml	2,646円	主席第一位の実績に輝く淡麗うま口の酒	常温 通年
(原料米:山田錦 精白40%、日本酒度+4、アルコール度数16.5、酸度1.2)					
052	吟醸・特別本醸造2本入セット	各720ml	2,900円	吟醸…吟醸酒の香りを楽しむ爽やかな酔い心地の酒 特別本醸造…最高の技術で丁寧に仕上げた淡麗うま口の酒	常温 通年
	(吟醸…原料米:山田錦・五百万石 精白50%、日本酒度+5、アルコール度数16.4、酸度1.3) (特別本醸造…原料米:五百万石、雪の精 精白55%、日本酒度+6、アルコール度数16.5、酸度1.4)				
053	特別純米・上撰黒松2本入セット	各720ml	2,400円	特別純米…越後杜氏の本格仕込みによる芳醇な風味とすっきりした口当たりの良い酒 上撰黒松…魅力溢れる本醸造りでひとクラス上を感じさせてくれる、すっきりした辛口の酒	常温 通年
	(特別純米…原料米:五百万石、雪の精 精白55%、日本酒度+6、アルコール度数17.3、酸度1.7) (上撰黒松…原料米:五百万石、新潟早生 精白60%、日本酒度+8、アルコール度数15.6、酸度1.3)				

武蔵野酒造

分類:醸造

上越市西城町4丁目7番46号

TEL 025-523-2169

FAX 025-524-3041

<http://www.musashino-shuzo.com>

mail:hajime\_k@musashino-shuzo.com

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
061	スキー正宗 特別本醸造	720ml	1,050円	越後高田、日本スキー発祥地になちなみ命名。やや甘口に感じる旨味のある特別本醸造酒です。全てのお料理に合う食中酒として、冷から熱燗まで美味しくお召し上がり頂けます。	常温 通年
062	春日山 天と地 本醸造	720ml	1,050円	上越謙信公の居城があった春日山になちなみ命名。やや辛口で飲みやすいスッキリとした味わいが特徴の純米酒。冷からぬる燗まで美味しくお召し上がり頂けます。	常温 通年
063	華(はな) 大吟醸	1,000ml	4,100円	原料米に五百万石を使用し、長期低温発酵により醸し出された大吟醸酒です。大吟醸特有のフルーティな香りをお楽しみ下さい。冷や又は常温で美味しくお召し上がり頂けます。	常温 通年

# 上越後ふるさと市場

(上越商業サービス公社取扱い)

ふるさとの味は如何ですか

JAえちご上越 米酒センター

分類:米処

上越市春日新田5丁目3番11号

TEL 025-543-0055

FAX 025-543-5261

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
071	雁木通り	2kg	1,320円	上越産コシヒカリ米 100%	常温 通年
072	雁木通り	5kg	3,150円		常温 通年
073	雁木通り	10kg	6,300円		常温 通年

※相場により変動あり

えちご上越農業協同組合

分類:米処

上越市藤巻5番30号

TEL 025-543-0055

FAX 025-543-0068

<http://www.ja-eh.com>

[mailjakakouka@ja-eh.com](mailto:mailjakakouka@ja-eh.com)

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
091	きんしゃり (コシヒカリ米100%)※相場により変動あり	5kg	2,800円	えちご上越管内で育ったおいしいお米です。一粒一粒に安心安全を込めてお届けします。	常温 通年
092	こがね姫(切り餅) (水稲モチ米「こがねもち100%」使用)	40枚	2,500円	えちご上越管内で育った水稲モチ米こがねもち100%使用。衛生的なクリーンルームで添加物を使用せずに製造しています。使い易い個包装タイプです。	常温 通年
093	越後みそ 味噌路 (赤みそ)	1kg×4	2,200円	えちご上越管内で育った大豆を原料に熟成させた、こくのある味噌です。	常温 通年

かんずり

分類:米処

妙高市西条438番地1

TEL 0255-72-3813

FAX 0255-72-0344

<http://www.haneuma.net/kanzuri/>

[mailkanzuri@haneuma.net](mailto:mailkanzuri@haneuma.net)

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
101	かんずりセット #20 かんずり(大)80g、かんずり漬山菜80g、かんずり漬えのき茸80g	各1個	2,100円	かんずりの定番商品セットです。三年間ゆっくり熟成・醗酵させて造る、日本で唯一の脱酢香辛料です。	常温 通年
102	かんずり(大)	80g 1個	630円		常温 通年
103	かんずり漬えのき茸	80g 1個	630円		常温 通年

## 山本味噌醸造場

分類: 米処

上越市中央1丁目13番4号

TEL 025-543-2283

FAX 025-543-1373

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
111	コシヒカリみそ	1kg	1,103円	特別栽培新潟コシヒカリ米と特別栽培北海道大豆及び天日塩を原料とし塩分11%にひかえた長期熟成天然醸造手造り味噌です。	常温 通年
112	越の淡雪	1kg	772円	国産大豆と国産丸米を主原料に新潟県の特許技術による製造法で塩分を8.5%にひかえ、天然発酵でじっくりと熟成させた手造り味噌です。	常温 通年
113	みそ漬け(6品入) (大根、茄子、胡瓜、生姜、昆布、山芋等)	350g	735円	手造りみそに長期間漬け込んだ越後風味のみそやのみそ漬けです。	常温 通年

## 石田弥菓子店

分類: 銘菓

上越市中央1丁目5番1号

TEL・FAX 025-543-2502

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
121	謙信の城	10ヶ入	1,260円	皮は乳菓で中餡は赤と白のミックスで生クリームを入れて造っています。	常温 通年
122	謙信銘菓 十三夜	10ヶ入	1,260円	ホイール焼きで、中の餡は黄餡で大納言を入れて造っています。	常温 通年
123	笹だんご	10ヶ入	1,260円	越後平野に取れるお米と餅草を主原料にした当店独自の製法によるものです。	常温 通年

## 田炉裏庵

分類: 銘菓

上越市中通町6番17号

TEL 025-525-8771

FAX 025-524-5449

<http://www.ironian.com>

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
131	寒椿	個包装 90g	368円	新潟産水稲モチ米を使用した昔ながらのしょう油味のおかし。	常温 通年
132	寒椿マヨネーズ	個包装 82g	368円	新潟産水稲モチ米を使用したマヨネーズ味のおかし。	常温 通年
133	日輪ごま	10枚	368円	新潟産のコシヒカリを使用したゴマせんべい。	常温 通年

## 大杉屋惣兵衛

分類: 銘菓

上越市本町5丁目3番31号

TEL 025-525-2500

FAX 025-525-2159

<http://www.homepage3.nifty.com/ohsugiya/>

mail:ohsugiya\_sohbei@nifty.com

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
141	翁 鮎	20個入	1,365円	江戸時代からの越後銘菓。もち米、鮎を角にかためたもの。	常温 通年
142	おぐらようかん 春日山	460g	1,365円	大納言の風味を生かした羊羹。(題字は上杉謙信公)	常温 通年
143	くらようかん 第一種	480g	1,365円	丹精こめて練り上げた黒砂糖羊羹。(題字は上杉謙信公)	常温 通年

# 上越後ふるさと市場

(上越商業サービス公社取扱い)

ふるさとの味は如何ですか

## 菓子処 くさのや

分類: 銘菓

上越市中央1丁目4番1号

TEL 025-543-5351

FAX 025-544-6302

<http://www.kusanoya.com>

mail: @kusanoya.com

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
161	笹だんご	10ヶかご入	1,300円	越後の上質米を原料に風味豊かなよもぎを加えた餅でつぶあんを包み、熊笹でくるんだものです。翌日配達可能地域以外はクール便のみの発送となります。	クール 常温 通年
162	笹だんご (数量に応じ、サービス袋・箱にお入れいたします。)	1ヶ	126円		クール 常温 通年
163	ちまき	5ヶ入	577円	香り豊かな笹の葉でおいしい越後のもち米をくるみ、ゆで上げたものです。翌日配達可能地域以外はクール便のみの発送となります。	クール 常温 通年

## 小竹製菓

分類: 銘菓

上越市南高田町3番1号

TEL 025-524-7805

FAX 025-524-1735

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
171	小竹のサンドパン	5ヶ	630円	特製ホワイトクリームを付けた音なつかしいコッペパンです。	常温 通年
172	小竹のサンドパン	10ヶ	1,260円		常温 通年
173	小竹のサンドパン	15ヶ	1,890円		常温 通年

## 十四代 高橋孫左衛門商店

分類: 銘菓

上越市南本町3丁目7番2号

TEL 025-524-1188

FAX 025-525-3138

<http://www.etigo-ameya.co.jp>

mail: info@etigo-ameya.co.jp

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
181	翁 鮎	12ヶ	798円	江戸時代より続く、高田の銘菓です。	常温 通年
182	粟 鮎	2ヶ	1,733円	日本で初めて創製された、もち米の水鮎です。	常温 通年
183	詰合せ (翁鮎12ヶ、粟鮎1ヶ、るり鮎6ヶ)		2,310円	贈り物に最適な詰合せです。	常温 通年

関のや製菓

分類:銘菓

上越市上曾根399番地の1

TEL 025-528-4017

FAX 025-528-4085

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
191	久比岐野銘菓 八社五社(やしやごしゃ)		1,365円	上越一円で広く歌われ語り継がれる民謡「八社五社」。昭和49年に上越市無形文化財第一号に指定され、記念として造られたお菓子です。じっくりと練りこんだ小豆餡とクリーム餡の二種類があり、うす皮でしっとり焼き上げました。※夏期のみクール便	クール 常温 通年
	(小豆5ヶ、クリームあん(白)5ヶ)				
192	岩の原ワインゼリー		2,037円	日本の葡萄とワインの父、川上善兵衛の情熱により生まれた100余年の歴史を持つ伝統の味、岩の原ワインをたっぷり使用したワインゼリーです。味と香りで100余年のロマンを感じて下さい。	常温 通年
	(赤ワインゼリー6ヶ、白ワインゼリー3ヶ)				
193	岩の原オリジナルケーキ (アーモンド、紅茶、チーズ、チョコレートの四種類でお好みのものをご指定下さい。)	1本	1,365円	岩の原ホワイトブランデーを使用した当店オリジナルケーキです。四種類の味があり、それぞれの味を十分に楽しんでいただけるケーキです。	常温 通年

紅屋

分類:銘菓

上越市仲町4丁目5番4号

TEL 025-523-3098

FAX 025-523-3175

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
211	塩羊羹	1本	525円	昔ながらの製法で作られた眞の塩を使用した、さっぱりとした塩味の風味を大切に塩羊羹を仕上げました。	常温 通年
212	笹だんご (化粧箱入)	10ヶ入	1,313円	越後高田を代表する故郷の味。笹の葉に包まれたよもぎだんごの野趣豊かな風味は、何時も新鮮な郷愁をたたえています。	常温 通年
	213	笹だんご (化粧箱入)			
※1ヶ(45g)			126円		

マーブル市原

分類:銘菓

上越市大学前204

TEL・FAX 025-526-1395

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
221	雪中梅入り酒ケーキ	1本	1,200円	地元の雪中梅を使用した、しっとりとした酒ケーキです。	常温 通年
222	雪中梅入り酒ケーキと春日山謙信流陣太鼓		2,300円	雪中梅入り酒ケーキ…地元の雪中梅を使用した、しっとりとした酒ケーキです。 春日山謙信流陣太鼓…高田公園をイメージし桜の花と蓮の実をお菓子にのせ焼き上げました。中には白アンと小倉アンがそれぞれ入っています。	常温 通年
	(雪中梅入り酒ケーキ1本、春日山謙信流陣太鼓6ヶ入)				
223	笹だんご	20ヶ入	2,625円	手作りの笹だんご。できたてをお届けします。	常温 通年

# 上越後ふるさと市場

(上越商業サービス公社取扱い)

ふるさとの味は如何ですか

## 三野屋菓子店

分類: 銘菓

上越市中央1丁目1番11号

TEL 025-543-2538

FAX 025-543-2391

mail:supersonic@bg.wakwak.com

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
231	継続だんご	8本入	1,050円	林芙美子の名作「放浪記」にも登場する当地の名物です。白餡を丸めて、串にさし、一本一本でいねいに焼き色をつける様に焼きあげる。100年間変わらぬ手作りにて、味と歴史を伝え続けています。	常温 通年
232	笹だんご	20個入	2,625円	新潟県を代表するお土産の一つです。餡が美味しい事が自慢の当店の笹だんご。ぜひともご賞味下さい。	常温 通年
233	桜サブレ	10枚入	1,050円	日本三大夜桜を誇る上越市の木は「桜」です。桜の花の塩漬けを一輪咲かせて、焼き上げてあります。	常温 通年

## 杉田味噌醸造場

分類: 米処

上越市本町4丁目3番16号

TEL 025-525-2512

FAX 025-523-6350

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
251	雪の花みそ 中辛	4kg 朱樽	3,400円		常温 通年
252	雪の花みそ 中辛 (贈答用、化粧箱入)	1kg×5	3,200円		常温 通年
256	雪の花みそ 中辛 (自家用、簡易包装)	1kg	557円		常温 通年
257	雪の花みそ 甘口 (自家用、簡易包装)	1kg	599円		常温 通年
253	越後みそ漬け 昔づくり辛口	1kg	2,000円		常温 通年
254	越後高田 甘口みそ漬け	1kg	2,400円		常温 通年
255	みそ・みそ漬セット (中辛3kg、甘口みそ漬700g)		3,600円		常温 通年

※8月頃に値上がり予定

# ふるさと便り

「上越タイムス」の記事より

## 直江兼統役に妻夫木さん(二月)

来年のNHK大河ドラマ「天地人」の主役直江兼統に妻夫木聡(つまぶき・さとし)さんに決定。「天地人」は上杉謙信公の薫陶を受け、謙信の養子・景勝を支えた直江兼統の生涯を描いております。

兼統は上杉家の執政として、会津転封まで春日山で過ごした。妻夫木さんは「兼統は信義を貫き愛に生きた人。収録前に一度新潟に行き、少しでも兼統に近づきたい」と意気込みを語った。木浦上越市長も「妻夫木さんは優しさとしんに秘め



た強さを併せ持つ素晴らしい俳優、謙信の『義の心』、兼統の『愛の心』を強力に発信し、ゆかりの地・上越市を大いにアピールして頂きたい」と談話しております。

## 県の草花に「雪割草」指定(三月)

新潟県は「雪割草」を新潟県の草花に指定した。これまでの県の花「チューリップ」、木「雪椿」、鳥「朱鷺」に新しいシンボル「雪割草」が加わった。雪割草は上越地域でも愛着

のある草花。合併前の大島村が村の花に指定していた歴史もあり、現在は「市が推奨する花」十種のの一つに



なっております。

## 「直江兼統」本刊行 花ヶ前盛明さん(三月)

Jネット文化講演会講師の居多神社宮司で戦国史家の花ヶ前さんが「直江兼統」を刊行した。樋口家長男「兼統」の誕生、謙信の養子「景勝」の側近として御館の乱の勝利に貢献。名家直江家を継ぎ、関ヶ原合戦での徳川家康との対立と敗戦後に上杉家存続へ奔走したしょうがいを読みやすくまとめている。写真や地図、系図などもふんだんに掲載。



## 卒業式にガクトさんが登場(三月)

高田高校の卒業式が上越文化会館で行われ、「風林火山」の謙信役で注目を集めたガクトさんがサプライズゲストで登場。卒業生にはなむけの言葉と音楽を贈った。何も知らない卒業生を始め会場が興奮の渦に包まれ、厳粛ムードが一変した中、「運は天にあり、鎧は胸にあり、手柄は足にあり」と続けた後「己の力で夢をつか

むのじゃ。皆のものいざ出陣じゃ」と力強いメッセージ。校長先生の粋な計らいと



## ほくほく線開業十周年記念誌(四月)

東頸城の山間部を走るほくほく線(犀潟・六日町間)は平成九年に開業。昨年十周年を迎えた。記念誌は沿線ガイド、開業前、開業後、組織の変遷等ほくほく線の全てを網羅しております。残念ながら非売品で沿線の学校や図書館に寄贈されています。



## 妙高山麓の森は癒しの効果(四月)

妙高市の豊かな自然環境が「森林セラピー基地」として認定を受けた。森林セラピー基地は森林による感覚的な癒し効果を科学的・医学的根拠にも基づき実証、更に関連する宿泊施設などの整備状況、

交通アクセス、将来的な構想なども加味され総合的な評価で認定される。認定施設名は「生命地域・妙高薬湯膳の郷」イモリ池の妙高高原ヒジターセンターを中心とした周辺の国立公園を基地として、周辺の自然歩道、笹が峰一周歩道、夢見平遊歩道、赤池周辺トレイル、斐太歴史の郷、平丸ふれあいの森自然散策コースの六本をロードしている。



### 柿崎区楞厳寺で引つ越し(四月)

楞厳寺(りようこんじ)は昨年中越沖地震で本堂が傾く被害を受けた。このため基礎を全面的にコンクリートで固め軸組みを強化する修復工事が行われる。本尊釈迦三尊像や鎌倉期の大日如来像など多数の諸仏や備品の引つ越しが行われた。同寺は戦国の

武将、柿崎景家が謙信の師天室光育を招いて開いた由緒深い寺院。本堂は約三百年前の建立。



### 育てたサケの稚魚放流(四月)

「元気でかえってきて」と和田小学校では、恒例となつて育てたサケの稚魚を矢代川に放流した。最近矢代川にもサケの遡上が見られるという。和田小のサケか。



### 米山山麓ロードレース(四月)

かきざきドーム前をスタート地点に、小学一年から八十三才までの各世代男女が目標のコースを走る米山山麓ロードレースが開催された。二十四部門に九百四人が参加。高低差二百七十メートルのハーフコースには二百四十四人が挑戦。



### 陀羅尼大仏が再び黄金の輝き(四月)

都市計画に伴い、大仏様と昨年北本町から大貫に引つ越した曹洞宗・国厳(ごこん)寺の本堂・大仏殿が落成した。高

さ六メートルの陀羅尼様は解体・修復組み立てが行われ黄金の輝きを取り戻された。



### 百万人の観桜会が閉幕(四月)

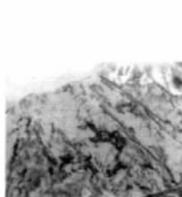
高田公園を中心会場に開かれた高田城百万人観桜会は百万七千人の参加を達成した。「小木おけさ」の披露、万燈みこし、忠霊塔前ではロウソクによるライトアップも実施され観桜会の最後を盛り上げた。観桜会大成功でした。

### 妙高山にはね馬くつきり(四月)

妙高さんのシンボル「はね馬」の雪形は昔から春の農作業を始める合図として、又春を告げる使者として親しまれている。



雪形は方向や距離によつて見え方も様々、視線を右にずらしていくと「かけ馬」も出現してくる。



### 東京農大が実践農場(四月)

東京農大は「株式会社じょうえつつ東京農大」を設立。社長の上越出身の藤本彰三東京農大教授は「実践農場として有機農業の全国発信と大学の社会貢献」を設立目的に掲げている。清浄な用水と生態系など「農業の最適地」と考え、当面水

稲四・三七ヘクタールと多品目野菜を作る畑を中心に桑取地区と谷浜地区の約一〇ヘクタールの農地で経営する。



### 直江津空襲知ってますか(五月)

直江津空襲と平和を考える会は被爆の

追悼会を黒井公園で行った。六十三年前の昭和二十年五月五日、米軍機が空爆を敢行、死者七人を出した。悲劇を生む戦争を再び起こさないようにと祈りを込めての追悼です。



### 鮫ヶ尾城趾と吹上・釜蓋遺跡が「国史跡」指定へ答申（五月）

妙高市の鮫ヶ尾城趾、上越市稲荷の吹上遺跡と大和の釜蓋遺跡が国の文化審議会で国史跡に指定するよう答申された。七月に公示の予定。吹上遺跡は青田川扇状地に位置し、弥生時代中期から古墳時代前期の長期間に亘っている。勾玉（まがたま）などの玉作りが大規模に行われた工房が発見されている。釜蓋遺跡は新幹線予定地近くで発見された弥生時代末期から古墳時代初期の集



落、防衛、水運に使われたと見られる太鼓母名環塚が発見されており、平地の環塚集落では日本海最北に位置している。

### 「青田川を愛する会」環境大臣賞を受賞（五月）

青田川を愛する会は、環境省が自然環境の保全などに顕著な功績があった団体などに贈る平成二十年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰・自然触れあい部門」を授賞した。町内会や小学校などと共にクリーン活動や水質調査、植樹を青田川で実施、河川の美化運動に努めています。「何とかが舞い、サケが上る川にしたがい」

六月には、大手町小学校四年生が青田川の青田新橋付近で水遊びに興じました。子魚、カニなどを捕獲して大はしゃぎだったとか。



### 美しき鳴き声を求めて（五月）

安塚自然友の会と上越理科教育センターによる野鳥観測会が直峰城趾周辺で開か

れた。夏鳥は日本に来て、ひなを育てる時期、オスが良い声で囀ります。「サッポロラーメンミソラーメン」（ほおじろ）や「トッキョキョカキョク」（ほととぎす）と鳴きます。



### 海洋調査船「なつしま」が奇港（五月）

直江津沖の水深九〇メートルの海底に眠る次世代資源「メタンハイドレート」の調査にあたっている。海洋調査船「なつしま」が直江津港に寄港、最新のレーダーを装備した操縦室、無人海底探査機「ハイパードルフィン」など一般公開された。



に敗れ、一族の一派は春日山山麓の浄国寺を頼って移住。その後妙高山麓の毛祝坂で新田開発に従事したという。浄国寺を訪れたのは「石田三成会」の六人と石田家十五代の秀雄さん。三成は直江兼統と交流があったという。残念ながら、石田家の過去帳など歴史的な資料は大正の大火で残っていないかった。



大河ドラマ「天地人」配役決まる（六月）  
妻夫木聡さんが主人公直江兼統役と決まっていた

が、更に謙信・阿部寛さん、景勝・北村一輝さん、兼統の妻お船・常盤貴子さんに決まった。来年が楽しみである。



### 石田三成の子孫 上越を訪問（六月）

戦国の武将・石田三成は関ヶ原の戦い

### 平成の名水百選に大出口泉水(六月)

柿崎区の湧水「大出口泉水」が、おとなり妙高市の「宇棚の清水」と一緒に、平成の名水百選に選ばれた。大出口泉水は尾神岳の伏流水を一日四百トンも噴き出し、美味しいお米を育む濁水のない泉です。



### 「うちのこ探検隊」(六月)

お隣の糸魚川市では、伝説の生きものを捕まえ一億円の賞金をゲットしよう、「うちのこ探検隊」一〇〇人がシヤルマン火打スキー場西側の方山山麓一体を今年こそはと探し求めた。残念ながらゲットならずとのこと。



### 金谷山で水晶探し(六月)

上越市科学館主催の「地層観察教室」が開かれ、約千年前の最近出来た地層から太古の地層まで見学した。高田西小学校付近の水田で地層が二重になった様子や、ヨードル金谷裏の露頭で「平山層」を観察した。金谷山では海底が隆起した「能生谷層」、防空壕を見学、金谷山では凝灰岩から「水晶探し」を体験した。



### 上越市ゆかりの詩人、高野喜久雄さんを偲ぶ「蓮の花コンサート」(六月)

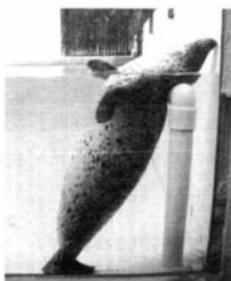
上越市ゆかりの詩人、高野喜久雄さんを偲ぶ「蓮の花コンサート」が八月三日に上越文化会館で開かれます。その中で高野さん作詞の合唱組曲「水のいのち」が歌われる。佐渡出身で高田農業高校の教壇に十四年間立っていた。当時の円周率のけた数で世界記録を樹立した数学者でもありました。地元有志メンバーによる練習に力が入ります。



### 上越市立水族博物館(六月)

水族博物館のホームページに「水族館日記」が加わりました。日々の出来事や普段人目に触れないシーンを紹介しております。水槽のパイプに頭を乗せて寝ているゴマフアザラシのジロー。岩陰を好み、隙間を出たり入ったりするユーモラスな顔のコブダイ。

週一〜二回の更新。HPは「上越市立水族博物館」で検索して下さい。



### 居多神社 新社殿完成(六月)

五智の居多神社の新社殿が完成し、御神体を仮宮から新神殿に移す遷座祭が古式にのっとり行われた。御神体は唐櫃(からひつ)におさめられ、笛・太鼓や守護する弓矢・刀、御神体を通ることを知らせる警蹕(けいはい)などからなる行列、「遷御の列次」の中で新社殿に向かった。かがり火に照らされた境内には大勢の人が見守った。



### 高野喜久雄さんを偲ぶコンサート(六月)

大島区にニホンカモシカ出現(六月)  
大島区の国道253号沿いにある農林産物直売所「青空市場」の対岸に春以降、ニホンカモシカが度々現れ観光客を楽しませています。対岸の九〇度近い絶壁をいとも簡単に走り降りて川岸で遊





地域に密着した総合タウン誌

月刊 **JACK LAND**  
上越エリア情報誌 ジャックランド

320円

毎月25日発売

定期購読承ります

新潟県上越市上島464-1 エリート2F  
TEL.025-524-4275 FAX.025-524-4451  
e-mail hensyuubu@jack-land.com  
URL <http://www.jack-land.com>

会の運営に  
ご協力いただいている  
特別賛助会員です。

J

- ★特別賛助会員とJネットはお互いに協力しながら良いまちづくりをめざします。
- ★Jネットでは会の運営に協力していただける特別賛助会員を募集しております。
- ★皆様のご存知の企業・団体等で賛助会員をお願いできるようなところがありましたら是非ご紹介ください。

## NPO法人 食の工房ネットワーク

NPO法人・食の工房ネットワークは、私たちが目指す「“食べる側”と“作る側”を本来の姿につなぐ活動」を中心に、お互いの立場から結びつきを大切にし、畑から食卓までの流れの中で、安全性や品質に“透明性”を求めることを共通の目的として設立いたしました。消費者と生産者がお互いに通じながら、安全な地域の生産品を、安心して食べることが出来るように“食に関するプラットフォームづくり”を進めています。



上越市の田原と妙高山系

こんな活動をしています

- 農産物・加工品に関する情報収集及び情報発信
- 農産加工品に関する調査及び研究
- 地場農産物・加工品の消費拡大事業
- 自然を通じて子供たちに五感を感じさせる活動

これらのコンサルティング・教育・講習を中心に事業展開しています。

〒943-0831 新潟県上越市下正善寺1027-2 正善寺工房内  
TEL・FAX 025-523-0621



## (有)上越商業サービス公社

上越観光物産センター内  
上越市藤野新田175-1 〒943-0171  
TEL 025-545-0123 FAX 025-545-1113  
営業時間 9時～18時  
休館日 月曜日、祝日の翌日

上越の名産・特産品を一堂に取り揃えています。お土産選びにぜひご利用ください。

取扱商品例

塩するめ、丸干イカ、かまぼこ、ワイン、日本酒米、そば、ちまき、おかし、笹だんご、各種銘菓

通信販売も行っています。Jネット会員の皆様が利用される場合は、送料は不要です(送料は、Jネットが負担します)。ご贈答等にもご利用ください。



創業明治23年  
伝統の味  
岩の原ワイン

～日本の本格的ワイン発祥の地～

株式会社 岩の原葡萄園

TEL.025-528-4002 新潟県上越市北方1223番地  
URL <http://www.iwanohara.sgn.ne.jp/>

日本の本格ワイン発祥の地「岩の原葡萄園」は、明治23年の創業以来、3世紀にわたって高品質のワインを世に送り出てまいりました。  
お蔭様で上越市の代表的な特産品として、多くの方にご愛飲いただいております。弊社では、遠方にお住まいでお近く岩の原ワイン取扱店がない方に向けて、「岩の原ワイン みゆき会」の会員を募集いたしております。  
ワイン10,500円以上のご注文で送料無料、お買上げのポイントによるプレゼントなど、色々と特典がございますので、1ネット会員の皆様も是非ご利用下さい。  
お問合せ 株式会社岩の原葡萄園 025-528-4002

山里のすべてが湯ったり村です。

寂 静 瀬 音 風 鳴 花 薫 紫 昏 月 明  
星 雨 狭 霧 伝 説 豊 饒 叢 雲 蒼 穹



十人十色の癒しの郷  
くわとり湯り村 上越市皆口601  
TEL 541-2611 FAX 541-2616

ふるさとへの便り 毎日お届けします

日刊

上越タイムス

上越タイムス

検索

ご購入のお申込みは

☎ 0120-17-4243  
FAX 025-525-0061  
URL [www.j-times.jp](http://www.j-times.jp)

購読料は1ヶ月 2,875円 (税・郵送料込)

※お支払いは郵便振替となります

紙面に掲載した写真提供致します。

※詳しくはお問い合わせ下さい。

本社 〒943-0823 新潟県上越市高土町2-4-6  
TEL 025-525-6666  
株式会社 上越タイムス社

上越初の住宅型有料老人ホーム

サンクス高田「自在館」

平成21年4月オープン

平成17年にオープンしました介護付有料老人ホーム「サンクス高田」は、お蔭様でオープン以来常に満室の状況にあり、ご入居されているお客様約3割は東京方面の皆様です。ありがとうございました。

そこでこのたびは、雪の心配もなく、お元気なうちから安心して暮らしを楽しんでいただき、また、要介護となられても一生住み続けていただける、まちなかの住まい、暮らしを優先した住宅型有料老人ホームの建設を進めています。間もなく入居募集をいたしますので、四季の豊かな、城下町高田でのゆったりとした快適な生活。ぜひご検討ください。

- 暮らし優先の住宅型有料老人ホーム「響」 3階～6階 全個室約42～57㎡ 36室
- ・所在は上越市寺町3丁目。高田駅から270mという好立地で、サンクス高田の真向かいです。
- ・お1人でも、ご夫婦、ご姉妹でもご入居できます。
- ・現在健康な方も、要介護の方もご入居できます。
- ・入居一時金による利用方式です。
- ・ホーム内に居宅介護支援事業所、訪問介護事業所が開設され、要介護となられても安心です。
- ・なお、2階部分には介護優先の介護付有料老人ホーム「鞠」あや 全個室約20㎡ 18室も併設されています。
- ・清水建設(株)の設計施工により、安全性を最優先に建設しています。

○お問合せ先  
くびき野ライフスタイル研究所 025-524-0057  
サンクス高田 025-525-7038

株式会社 くびき野ライフスタイル研究所

# 上越市の主な催し

「上越市イベントカレンダー」より、今年度の主な催しをとりあげてみました。是非参加されませんか。なお、都合により変更になる場合もありますので、「問合せ先」または、市の企画政策課（電話：025-526-5111）に確認してください。



イベント・大会名	開催日時	会場	実施内容	問合せ先
第45回大島駅伝大会	7月13日(日)	大島区縦断	大島区内を縦断する伝統ある駅伝大会です。	大島区体育協会(大島コミュニティプラザ内) ℡025-594-3122
夏季特別展「イルカショー」	7月19日(出)～8月24日(日)	水族博物館	ハンドワイルド2頭によるスリリングでダイナミックなショー。1日6回、トレーナーによる解説、イルカと観客とのふれあいなども行われます。	水族博物館 ℡025-543-2449
町家特別見学会	7月19日(出)～8月24日(日)の土・日曜日	旧今井染物屋 旧金津煮太郎補店	はすまつりの開催に合わせて、多くの皆さんに町家を知っていただくため開催する催しで、町家スタッフが高田の町家の魅力について説明します。	上越市文化振興課 ℡025-526-6903
米と酒の謎蔵 夏期イベント	7月12日(出)～8月31日(出)(予定)	三和米と酒の謎蔵	夏休み期間にあわせて行われるイベントで、土日祝日とお盆期間(13～15日)には利酒大会、鮎のすくいどり、お米の銘柄紹介などを行います。	三和区総合事務所 産業建設グループ ℡025-532-2323
上越まつり	7月23日(休)～29日(火)	高田、直江津地区ほか	23日～26日は高田地区、26日～29日は直江津地区で開催され、みこしの川下り、お蔵米奉納、大民謡流し、大花火大会など、各種イベントが開催されます。	館上越観光コンベンション協会 ℡025-543-2777
平成20年度全日本実業団ソフトテニス選手権大会(男子)	7月25日(金)～27日(日)	上越総合運動公園テニスコート(仮称)	実業団対抗によるトーナメント戦。昨年の世界選手権で団体優勝したナショナルチームのメンバーなど、国内トップレベルの選手が熱戦を繰り広げます。	トキメキ新潟県体上越市実行委員会(上越市体育推進課内) ℡025-526-5111
小林古径記念美術館常設展「小林古径 上越コレクション展Ⅱ」	7月26日(出)～9月23日(火)(祝)	小林古径記念美術館	小林古径美術館で所有する上越市出身の日本画家・小林古径の作品をさまざまなテーマで紹介します。	小林古径記念美術館 ℡025-523-8680
企画展Ⅱ「上越市の文化財展(仮称)」	7月26日(出)～9月23日(火)(祝)	総合博物館	郷土の歴史を物語る文化財を紹介します。(内容未定)	総合博物館 ℡025-524-3120
地引き網	7月27日(日)	川西海岸 マリンホテルハマナス西側海岸	地引き網の体験。魚に実際に触れていただき、取れた魚は持ち帰っていただくほか、海鮮汁のサービスなどを行います。	特崎地区総合事務所 産業建設グループ ℡025-536-6712
おおしま夏まつり	7月27日(日)	大島区岡大島コミュニティプラザ横	たくさんの屋台が並び、楽しいゲーム大会やステージショー、大抽選会などが行われます。	大島まちづくり振興会(大島コミュニティプラザ内) ℡025-594-3122
不動山登山	7月27日(日)	不動山	上越市の最高峰である不動山(1430.1m)への登山を行います。記念品のプレゼントも行われます。	事務局：名立体育協会(名立区総合事務所教育・文化グループ内) ℡025-637-2126
海と人魚と踊りの祭典(編の浜温泉夏まつり2008)	7月31日※開催日は予定	編の浜海水浴場一帯	音楽に合わせて打ち上げる「色彩花火」はシーズン中7回実施され、最終日の8月23日には宝探しゲームなども行われます。	大潟商工会 ℡025-534-3211
上越はすまつり	7月25日(金)～8月17日(日)	高田公園	外観のほとんどを埋めつくして咲き誇る「東洋一」といわれるはすの観覧会、食のコーナーや市内小学生製作の灯るう展示、写真展示や観覧茶会など多岐にわたるイベントが開催されます。また、今年は期間中にドイツビールやドイツの郷土料理が味わえるイベント「上越オクトーバーフェスト2008」が開催されます。	館上越観光コンベンション協会 ℡025-543-2777
竹平蛭まつり	7月上旬(予定)	大島庄屋の家	棚田に舞うほのかな蛭の光をそっと眺めた後は、お母ちゃんたち手作りの重箱料理でパーティーを行います。	大島庄屋の家 ℡025-594-3848
第1回直江津港「釣り大会」	7月中	直江津港	海や船、船に観しんでいただく西浜での釣り大会。魚をとる楽しさや釣った方は記念品もあります。	上越市直江津港振興課 ℡025-545-9134
日本スキー発祥記念館企画展	7月下旬～8月下旬	日本スキー発祥記念館	スキーやレールヒルビ佐等、スキーの歴史文化についてテーマを設け企画展を開催します。	上越市文化振興課 ℡025-526-6903
安塚サマーイベント	7月～8月(未定)	雪だるま高原を中心に安塚区内	わくわく動物園などのイベントを中心に、安塚区内の美術館や記念館の催しイベントなどを開催します。	キュービッドパレイ ℡025-593-2041

# 上越市の主な催し

# 8月



イベント・大会名	開催日時	会場	実施内容	問合せ先
第10回越後よしかわやっ たい祭り	8月2日(出) (予定)	原之町商店街	300基以上の「船橋平灯」が五穀豊穡を願い、夜の祭りに彩を添えるまつりです。マジック、イリュージョンショー、ヨサコイソーランや大抽選会なども行われます。	吉川商工会 Tel.025-548-2109
第12回なんばまつり	8月2日(出)・3日(日)	南葉高原キャンプ場	ニジマスの釣り堀や木工工作体験、キャンプファイヤー、流しそうめんなどを楽しむことができます。	南葉ロッジ Tel.025-524-9046
第33回上越市幼年野球 大会	8月2日(出)～4日(月)	上越市少年野球場ほ か	市内の小学生の軟式野球チームが日頃の練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げます。	大会事務局NPO法人 上越市体育協会 Tel.025-525-4119
なかごう夏まつり	8月3日(日)	中郷総合体育館駐車場	ものまねショーや緑日模範園・屋台が立ち並ぶほか、ちびっこ遊園地、よさこいライブ等が行われます。	中郷区まちづくり振興 会事務局 Tel.0255-74-2455 中郷区総合事務所 産業建設グループ Tel.0255-74-2692
第8回ビーチバレー大会 上越マリンカップ	8月3日(日)	船見公園ビーチバレーコート	熱砂の上で県内外のビーチバレーチームにより、華麗なプレーが繰り広げられます。	大会事務局上越ビーチバレー連盟 代表 志賀 Tel.090-1539-9055
名立まつり	8月3日(日)	名立区 うみてらす名立 多目的広場	各種イベントが開催され、模擬店が立ち並びます。	名立区総合事務所内 名立まちづくり協議会 事務局 Tel.025-537-2121
安塚歩行天まつり (2輪4輪部品交換会)	8月3日(日)	安塚区商店街	全国から愛好者が集まる2輪4輪部品交換会。当日は様々な屋台やお店が出店され、賑わいを演出します。	安塚商工会 Tel.025-592-2265
みょうがの里まつり	8月3日(日)予定	正善寺工房	名産である「みょうが」にちなんだ初のイベント。みょうがや地元野菜の即売、地元食材を使った惣菜や弁当の販売のほか、各種体験などを行います。	正善寺工房 Tel.025-523-0621
ブナ林ハイキング	8月3日(日) (予定)	犀ヶ池遊歩道 牧湯の里 深山荘	ブナ林の原生林と神秘的な天然地層ヶ池に親しんでいたため、牧神中腹にある犀ヶ池遊歩道を歩くハイキングです。	牧区総合事務所 産業建設グループ Tel.025-533-5141
うらがわらまつり	8月3日(日) (予定)	浦川原コミュニティ プラザ駐車場	第1部はストリートパフォーマンスや各種ゲーム、屋台などが並び、第2部では各種団体による演奏・発表、葛飾区楽又住民による大江戸ダンス、びっくり抽選会などが行われ、メモリアル花火が打ち上げられます。(予定)	うらがわらまつり協賛 会事務局 (浦川原区総合事務所 産業建設グループ内) Tel.025-599-2301
Continue Art Project展	8月3日(日)～17日(日)	大島区内地域生涯学 習センターほか	道郎の緑地帯やぶな林、民家など自然の中で行う創作・展示活動です。期間中は作品を制作段階から見ることができ、各種の芸術ワークショップも実施します。	Continue Art Project実行委員会(教 育委員会事務局大島区 分室内) Tel.025-594-3101
小林古径邸夏休み親子講 座「おやこで親しむ 和 の心」	8月3日(日)・10日(日)・ 24日(日)	小林古径邸	古径邸の和の雰囲気の中、子どもたちが和室での立ち居振る舞いやお茶のいただき方などを体験する講座です。	小林古径記念美術館 Tel.025-523-8680
自然観察会	8月3日(日)	里のこどもの国 (市 内杉野袋、上真砂、 下百々)	里の貴重な自然を体験しながら、環境や生態系を学習できるイベントです。	上越市農村整備課 Tel.025-526-5111 (内線1712)
第13回ジャパンオーブ ンハンドボールトーナメ ント(女子)	8月8日(金) ～8月10日(日)	リージョンプラザ上越 上越市柿崎総合体育館	ハンドボールのクラブチーム日本一を決める大会。各地区を勝ち上がった15チーム及び開催県チームを含めた16チームによるトーナメントが行われます。	トキのき新潟国体上越 市実行委員会 (上越市国体推進課内) Tel.025-526-5111
きよさと夏祭り	8月9日(出) ※雨天順延	清里中学校グラウンド	12kmにわたる神輿渡御や、区内の小学校児童生徒による吹奏楽演奏・合唱、YOSAKOI演奏、太鼓演奏、花火大会などが行われます。	清里まちづくり振興会 Tel.025-529-1218

イベント・大会名	開催日時	会場	実施内容	問合せ先
第30回頸城の祭典	8月9日(土)・10日(日)	ユートピアくびきー帯	昭和53年に始まったまつりで、第30回記念ステージ、子供供し、大民謡流し、キャラクターショー、露店などが実施されます。	頸城の祭典実行委員会事務局 TEL025-539-2066
第38回上越市少年野球大会	8月9日(土)～11日(月)	上越市高田公園 野球場ほか	市内の中学生と小学6年生の軟式野球チームが一室に集い、交流を深め、日頃の練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げます。	大会事務局NPO法人 上越市体育協会 TEL025-525-4119
板山不動尊公園溪流まつり	8月10日(日)	板山不動尊公園	つかみどりした若魚を、その場で焼いて、食べることができるイベントです。先着100名で締め切り。	板山町内会長 小山康喜 TEL025-594-3344
お益特産市	8月13日(水)～17日(日)	道の駅 雪だるま物産館	地元産野菜のほか、地元あかちゃんの手づくり加工品、ちまき、笹だんご、かきもち、漬物などの販売を行います。	雪だるま物産館 TEL025-595-1010
第38回上越市野球大会	8月14日(木)～16日(土)	上越市高田公園 野球場ほか	市内の高校生・一般の軟式野球チームが一室に集い、交流を深め、日頃の練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げます。	大会事務局NPO法人 上越市体育協会 TEL025-525-4119
不動ふるさと夏祭り	8月15日(金)・16日(土)	不動地域一円	ニジマスのつかみ取りや盆踊り、火花大会などが行われます。	名立区総合事務所 産業建設グループ TEL025-537-2121
第29回北信越国民体育大会卓球競技	8月15日(金)・16日(土)	上越市総合体育館	北信越5県を代表する選手が集い、熱戦を繰り広げます。	新潟県体育協会 TEL025-287-8600
謙信公祭奉納武道大会	8月16日(土)・17日(日)・ 23日(土)・24日(日)	リージョンプラザ上 越ほか	郷土の武將上杉謙信公の遺徳を偲び開催される武道大会。剣道・柔道・空手道・弓道・相撲・銃剣道などが行われます。(※種目毎の期日は未定)	大会事務局NPO法人 上越市体育協会 TEL025-525-4119
なかこう縄文まつり	8月17日(日)	泉縄文公園	自然、スポーツ等の体験を通して中郷区を再発見するイベントです。スポーツコーナー、風物文化コーナー、遊び体験コーナー、商工会による層台などがあります。	なかこう縄文まつり実行委員会 (はとびあ中郷) TEL025-74-2338
関田八幡祭	8月18日(月)	関田八幡社 (板倉区関田)	三味線や横笛、太鼓にあわせて天狗舞と獅子舞が披露されます。神楽の前には、上杉謙信公が川中島の戦いで勝った時に舞われたという伝説が残る「関田古代調」が踊られます。	上関田町内会長 新井啓一 TEL0255-78-2514
塚之宮八幡宮例大祭	8月20日(水)・21日(木)	塚之宮八幡宮 (板倉区針)	8月20日には山車や神輿、民謡流しが、8月21日は影石陣前祭が行われ、両日とも神楽が奉納されます。境内には露店が立ち並び、祭礼の雰囲気を盛り上げています。	奉賛会会長(小林国俊) TEL0255-78-2015
尾神岳パラグライダーズ チューデントカップ	8月21日(木)・22日(金)	吉川区尾神岳エリア	尾神岳エリアで行われるスカイスポーツの大会です。パイロントレーシングやアクロバティックなどを行います。	吉川区総合事務所 教育文化グループ TEL025-548-2311
第29回北信越国民体育大会体操・新体操競技	8月22日(金)～24日(日)	リージョンプラザ上 越	北信越5県を代表する選手が集い、体操競技や新体操競技で熱戦を繰り広げます。	新潟県体育協会 TEL025-287-8600
第29回北信越国民体育大会ソフトボール競技	8月22日(金)～24日(日)	上越市少年野球場ほ か	北信越5県を代表する選手が集い、熱戦を繰り広げます。	新潟県体育協会 TEL025-287-8600
第83回 謙信公祭	8月23日(土)・24日(日)	春日山城史跡広場ほ か春日地区周辺	戦国の名將、上杉謙信公の武勇と遺徳を偲び開催されるまつりです。神輿巡幸や旗燈揚げ、武試し式、出陣行列、川中島合戦の再現などのイベントが開催されます。	謙信公祭協議会事務局 (上越市観光振興課内) TEL025-526-5111
海と人魚と踊りの祭典 (鶴の浜温泉夏まつり 2008)	色彩花火 (8/1・6・7・ 14・15・23) 鶴の浜海水浴場一帯 本祭り(8/23) ※開催日は予定		夏のシーズン中、音楽に合わせて打ち上げられる「色彩花火」。最終日の23日には空探しゲームなどが開催され、夜には「色彩花火」が打ち上げられます。	大潟商工会 TEL025-534-3211
第29回北信越国民体育大会ハンドボール競技	8月22日(金)～24日(日)	上越市柿崎総合体育 館	北信越5県を代表する選手が集い、ハンドボール競技で熱戦を繰り広げます。	新潟県体育協会 TEL025-287-8600
直江津港フェスティバル 2008	8月23日(土)・24日(日)	直江津港	大型帆船「日本丸」の一般公開のほか、海や港、船に親しんでいたイベントを開催します。	直江津港フェスティバル 実行委員会事務局(上 越市直江津港振興課) TEL025-545-9134
第8回ビーチフットボール大会	8月23日(土)・24日(日)	たにはま海水浴場	県内外のチームにより、熱砂の上で華麗なビーチフットボールのプレーが繰り上げられます。	大会事務局(ワセダ クラブ内) TEL025-521-7213
全日本BMX選手権大会	8月24日(日)	上越市バイシクルモ トクロス場	全日本シリーズのBMX大会。全国から集まったトップライダー達によりレースが開催されます。	新潟県BMX協会 TEL025-524-6555
関田峠～牧峠トレッキング	8月24日(日) (予定)	信越トレイル牧湯の 里 深山荘	信越トレイルを活用したハイキング。信越トレイルの関田峠～牧峠を歩きます。	牧区総合事務所 産業建設グループ TEL025-533-5141

イベント・大会名	開催日時	会場	実施内容	問合せ先
山本ぶどう祭り	8月31日(日)	会場：山本ぶどう園 エリア メイン会場：山本ぶ どう園展望台広場	保倉川太鼓演奏、民謡踊り、親子で早食いトライアスロン、よさこい踊り、ビンゴゲーム、大抽選会等が行われます。メイン会場ではぶどうが一部別で販売されます。	山本ぶどう組合組合長 ℓ025-599-3723
第20回上越レガッタ	8月31日(日)	関川(関川大橋上流 特設会場)	郷土を流れる川「関川」に親しんでいただく晩夏の観水イベント。男女別、実力別の5種別でレガッタ競技を行います。	実行委員会事務局(上 越市教育委員会体育課) ℓ025-545-9246
えしんの里夏祭り(仮称)	8月上旬(未定)	えしんの里記念館 (板倉区米増)	地元のよさこいグループによる合同演奏会など、多彩な催し物、露店、地元産市場の開設を行います。	えしんの里記念館 ℓ0255-81-4541
信越トレイルトレッキング(仮称)	8月下旬(未定)	信越トレイル(光ヶ 原高原～関田峠～黒 倉山～光ヶ原高原)	信越トレイルの一部、関田峠(板倉区)のルートを活用したトレッキング。夏の森を観察し、森の動きを体感してください。光ヶ原名物漬しそめもご堪能できます。	板倉区総合事務所 産業建設グループ ℓ0255-78-2141
納涼花火大会	8月上旬	柿崎中央海岸	昭和43年に始まった花火大会。海中スターマインを含む約130組の花火を打ち上げます。	柿崎区総合事務所 産業建設グループ ℓ025-536-6712
柿崎時代夏まつり	8月上旬	柿崎小学校前広場	上杉謙信公の四天王、柿崎賢家公をしのび開催されるまつり。昨年は各種露店や即興、山車、平灯のパレード、よさこいパレード、景観公の山車、太鼓の演奏等を開催しました。※平成20年度は未定	柿崎区総合事務所 産業建設グループ ℓ025-536-6712
おおがたドロリンピック	8月予定	潟田ナショナルカン トリー前田んぼ	休耕田を利用したイベント。小学生の部、一般の部に分かれて、ドロの中でドッジボール、ソーレースなどを行います。	おおがたスポーツクラ ブ事務局 (大潟地区公民館内) ℓ025-534-4367
第2回直江津港 「釣り大会」	8月中	直江津港	西ふ頭での釣り大会。魚をたくさん釣った方には記念品もあります。	上越市直江津港振興課 ℓ025-545-9134

## 上越市の主な催し

9月



イベント・大会名	開催日時	会場	実施内容	問合せ先
中秋の名月 小林古径演奏会 幽玄なる雅楽の世界	9月14日(日)	小林古径邸庭園(雨 天の場合小林古径記 念美術館ラウンジ)	伝統的敷居屋建築である小林古径邸で、茶席つきの雅楽演奏会を行います。	小林古径記念美術館 ℓ025-523-8680
稲文字福刈りと田んぼの 交流会	9月14日(日)	清里区棚田地内	成長した稲文字の刈り取りを行い、「田んぼの中心で〇〇を叫ぶコンテスト」を実施します。稲刈、はさ掛け、稲文字カプルのお祝いイベント、地元集落との交流会なども開催されます。	清里区総合事務所 産業建設グループ ℓ025-528-3111
名立大鍋祭り	9月14日(日)・ 15日(月祝)	うみてらす名立	新鮮な山海の素材をふんだんに使い、500人分が一度に作れる大鍋で作ったかじ汁、つみれ汁、エビのすり身汁を販売します。特産品まつり、テント市なども開催されます。	名立観光協会 ℓ025-537-2203 うみてらす名立 ℓ025-531-6300
トキめき新潟国体上越市 開催1年前行事 第2回上越体操祭	9月15日(月祝)	上越市総合体育館	トキめき新潟国体開催を契機に、スポーツや体操に親しみ、日ごろの活動の成果を発表していただくイベント。新体操の演技やアリーディングの披露、地元団体の演技発表などが行われます。	新潟県体操協会事務局 南雲 吉晴 ℓ025-534-4001
トマトまつり	9月上旬	道の駅 雪だるま物産館	高原とまとかあちゃん手づくりの惣菜の販売。トマトジェラート、トマトうどんなどの創作料理も楽しめます。	雪だるま物産館 ℓ025-595-1010

# 上越市の主な催し

# 10月



イベント・大会名	開催日時	会場	実施内容	問合せ先
企画展Ⅲ「天地人のいざない展(仮称)」	10月4日(土)～ 11月9日(日)	総合博物館	平成20年に放送されるNHK大河ドラマ『天地人』の冒頭部分で舞台となる、中世から近世への過渡期の越後国の様子を史料を元に探ります。上杉景勝や直江兼続に関する史料も出展します。	総合博物館 TEL:025-524-3120
小林古径記念美術館企画展「古径と歴史画」(仮称)	前期:10月4日(土)～11月9日(日) 後期:11月15日(土)～12月21日(日)	小林古径記念美術館	古径が描いた歴史画にテーマを絞り、その特徴や制作の過程を紹介します。	小林古径記念美術館 TEL:025-523-8680
くびき牛炭火焼フェアー	10月5日(日) 10時～15時	ふるさと村自然と憩の森	自然豊かな牧区で肥育された和牛を炭火焼で堪能いただけます(完全予約制です)。	牧振興会 TEL:025-533-5141
芋煮会	10月5日(日) 午前11時	柿崎川ダム上流「水辺の広場」	秋のダム周辺の散策と地元で収穫した農産物を使った芋煮汁を賞味していただきます。	柿崎区総合事務所 産業建設グループ TEL:025-536-6712
第11回越後よしかわ酒まつり	10月5日(日) 10時～16時(予定)	道の駅よしかわ杜氏の郷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国200銘酒きき酒コンテスト</li> <li>・子ども参加・体験型イベント</li> <li>・ヨサコイソーラン</li> <li>・大抽選会</li> <li>・JAの収穫祭(合同開催)など</li> </ul>	吉川区総合事務所 総務地域振興グループ TEL:025-548-2311
新米まつり	10月11日(土)～13日(月) (予定)	道の駅雪だるま物産館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新米コシヒカリの販売</li> <li>・新米もちでの餅つき</li> <li>・お米の重量あてゲーム</li> </ul>	雪だるま物産館 TEL:025-595-1010
越後高田町家三昧 秋ノ巻	10月11日(土)～13日(月) 10時～17時	町家交流館高田小町 旧今井染物屋 旧金津憲太郎桶店 本町7丁目・東本町1丁目周辺の町家	花ロードの開催に合わせ、江戸時代の旧家から昭和初期の商店まで、日本一の雁米通りを散策しながら町家めぐりを楽しんでいただきます。	上越市文化振興課 TEL:025-526-6903
第10回城下町高田花ロード	10月11日(土)～13日(月)	高田本町3・4・5丁目商店街	当日は、作品展のほか、映画館を利用した寄席やライブ「景観劇場」、染物屋・麻糸問屋・桶職人などが営んでいた町屋巡りなど様々なイベントと連携するなど、商店街に留まらず、広域的な取組を行い、高田の魅力を発信します。	本町3丁目商店街 振興組合 TEL:025-522-1829

イベント・大会名	開催日時	会場	実施内容	問合せ先
2008えちご・くびき野100km マラソン大会	・前夜祭 10月11日(金) ・大会 10月12日(土)	・前夜祭 リージョンプラザ上越 ・大会 市内一円	市町村合併により一つになった上越市の一体感の醸成と地域の交流を図るとともに、広く全国にPRします。100kmの部と50kmの部があります。	実行委員会事務局 (上越市教育委員会 体育課) TEL:025-545-9246
花ときのこの秋まつり	10月12日(日) (予定)	安塚区石橋地内	100万本の柳葉ひまわりが色鮮やかに咲く中で行う安塚中央町内会主催の秋祭りです。芸能発表やたくさんのお屋台が並びます。	NPO法人 雪のふるさと安塚 TEL:025-592-2004
牧野野鳥観察会	10月12日(日) 8時30分～14時 (予定)	牧野	牧野での野鳥観察 渡り鳥についての講演	牧区総合事務所 産業建設グループ TEL:025-533-5141
トキめき新潟国体上越市開催 1年前行事 トキめき新潟国体開催1年前 記念まつり(仮称)IN第10回 城下町高田花ロード	10月12日(日)	高田本町3・4・5丁目 商店街	10周年を迎える高田城下町花ロードの会場において、トキめき新潟国体の上越市開催1年前を記念したパレードや各種催しにより、国体機運を盛上げ、同時に花ロード10周年を祝います。	トキめき新潟国体 上越サポート運動 推進協議会 TEL:025-526-5111
ブナ林探検教室	10月12日(日)	上越地区	自然観察の専門家と共に自然の中を歩き、ブナ林を探検、観察します。	上越科学館 TEL:025-544-2122
第30回 松ヶ峯トリムマラソン大会	10月13日(月)	中郷総合運動公園	マラソン競技(男女別、年齢別) 健康ランニング(自由参加)	中郷区総合事務所 体育協会事務局 (はーとびあ中郷内) TEL:0255-74-2338
新潟県知事杯争奪 スカイグランプリ大会	10月25日(土)～ 26日(日) 開会式:9時 競技開始:10時	吉川区尾神岳エリア	・レースtoゴール ・スピードラン他	吉川区総合事務所 教育文化グループ TEL:025-548-2311
越後・謙信SAKEまつり2008	10月25日(土)～ 26日(日)	高田本町3・4・5丁目 商店街	・上越市、妙高市の19清酒蔵元、ワイン、地ビール、どぶろくなど全25の蔵元が出演。 ・500円での19清酒蔵元の試飲。 ・顕城社氏による酒造り唄披露。 ・地元食材等による食の出演。 ・謙信武者行列やコンサートなども開催。	越後・謙信SAKEまつり 実行委員会(事務局・上越市産業振興課中小企業支援室) TEL:025-526-5111
トキめき新潟国体体操競技リ ハール大会 第62回全日本体操競技選手権 大会	10月31日(金)～ 11月2日(日)	リージョンプラザ上越	日本トップクラスの選手が日本一を競い合う国内最高ランクに位置づけられる大会です。 強化選手の選考においても重要な大会であり、北京五輪に出場する選手のほとんどが参加予定です。	トキめき新潟国体上 越市実行委員会 TEL:025-526-5111
第25回観光協会会長杯ゴルフ大会	10月上旬	妙高サンシャイン ゴルフ倶楽部	・18ホール ・ストロークプレー ・新ベリア方式 ※商品に、中郷区内で収穫された特別栽培米を提供し、中郷のPRを行っています。	中郷観光協会 (事務局:中郷区総合 事務所内) TEL:0255-74-2693
朝市感謝祭	10月中旬	二・七市場、三・ 八市場、四・九市 場、一の日市	朝市を利用している皆さんへ日ごろの感謝をこめて、年1回の「朝市感謝祭」が開催されます。当日は青果などの特売が行われ、多くの買い物客でにぎわいをみせています。	上越市観光振興課 TEL:025-526-6901
信越トレイルトレッキング (仮称)	10月下旬(未定)	信越トレイル (久々野峠～黒倉 山～鍋倉山～光ヶ 原高原)	紅葉鮮やかな秋の森を観察し、森の働きを体感し森の重要性を認識していただきます。	板倉区総合事務所産業 建設グループ TEL:0255-78-2141

# 上越市の主な催し

# 11月



イベント・大会名	開催日時	会場	実施内容	問合せ先
トキめき新潟国体体操競技 ハーサル大会 第62回全日本体操競技選手権 大会	10月31日(金) ～11月2日(日)	リージョンプラザ上越	日本トップクラスの選手が日本一を競い合う、国内最高ランクに位置付けられる大会です。強化選手の選考においても重要な大会であり、北京五輪に出場する選手のほとんどが参加予定です。	トキめき新潟国体上 越市実行委員会 TEL:025-526-5111
上越菊まつり	11月1日(土)～ 9日(日)	浄興寺	上越市の秋の風物詩として親しまれているイベントです。菊まつりの観賞と合わせて町家の見学なども楽しめるミニツアーの開催等も予定しています。	(社)上越観光コンベン ション協会 TEL:025-543-2777
町家特別見学会	11月1日(土) ～9日(日)の 土・日曜日 10時～17時	旧今井染物屋 旧金津憲太郎桶店	町家スタッフが高田の町家の魅力について説明します。 入場無料、申込み不要です。	上越市文化振興課 TEL:025-526-6903
雪恋まつり	11月9日(日) (予定)	雪だるま高原 キュービットパレイ	スキーシーズンが待ち遠しい皆さんへ、シーズン券の販売や大抽選会を行います。スキーシーズンのランチメニューの一足早い試食も楽しめます。 ※東頸城の新そばまつりも同日開催します。	キュービットパレイ TEL:025-593-2041
寺町サミット	11月7日(金) ～8日(土)	寺町の寺院	寺院群を持つ7都市が集まり、ともに寺町の持つ歴史的・文化的な価値をいかしたまちづくりについて現状を語り合い、意見交換します。	上越市文化振興課 TEL:025-526-6903
上越そばまつり	11月9日	頸城希望館(予定)	各区の特色あるそばを提供します。	上越市農業振興課 TEL:025-526-5111
企画展Ⅳ 「新収蔵品展(仮称)」	11月15日(土) ～3月22日(日)	総合博物館	近年博物館で収集した歴史・民俗・美術分野の未公開資料を紹介いたします。	総合博物館 TEL:025-524-3120
小林古径記念美術館企画展 「古径と歴史画」(仮称)	前期:10月4日 (土)～11月9日 (日) 後期:11月15日 (土)～12月21日 (日)	小林古径記念美術館	古径が描いた歴史画にテーマを絞り、その特徴や制作の過程を紹介します。	小林古径記念美術館 TEL:025-523-8680
清里そばまつり	11月16日(日) (予定)	清里区青柳3438 坊ヶ池湖畔山荘 京ヶ岳	・食事処 ・そば打ち道場 ・農産物の直売	清里区総合事務所 産業建設グループ TEL:025-528-3111

イベント・大会名	開催日時	会場	実施内容	問合せ先
深山荘秋の味覚まつり	11月16日(日) (予定)	牧湯の里 深山荘	きのこご飯、きのこ汁、秋野菜の煮物などの食べ放題です。予約制です。	深山荘 TEL:025-533-6785
まぼらの里「新そばまつり」	11月23日(日)	まぼらの里	そばのおいしい季節に新そばを提供します。 メニュー：手打ちそば、鴨汁そばのお持ち帰りもできます。	まぼらの里代表 TEL:025-599-3054
鮭のつかみ取り大会	11月23日(日) 11月30日(日)	名立川河口 江野せせらぎ広場	特設プールで踊る鮭を手掴みで捕まえて、つかみ取りされた鮭を持ち帰るイベントです。また、鮭汁、鮭のつみれ汁、鮭の身卸し教室、特産品販売や味わいコースの宿泊、昼食コースで名立の鮭、鮮魚を食べて楽しむこともできます。	名立観光協会 TEL:025-537-2203 名立川さけ漁業生産組合 TEL:025-537-2545
農林水産業フェスティバル 夢大地おおがた2008	11月上旬 (予定)	J A えちご上越大 潟地区カントリー エレベーター前	・農作物等の即売 ・もちつき大会 ・おにぎり、もち、大豆料理の試食 各種イベントの実施、出店	大潟区総合事務所 産業建設グループ TEL:025-534-6803
新そばまつり	11月中旬 (未定)	板倉そば打ち体験 交流施設いたくら 亭	地元産そば粉(光ヶ原)を使った新そばまつり。 人気のざるそばを特別価格にて提供するほか、多数の特典があります。	板倉そば打ち体験交 流施設いたくら亭 TEL:0255-81-4720
伏野(ぶすの)のそばまつり	11月中旬 (未定)	そばとやすらぎの 里(旧伏野小学校)	おじいちゃんおばあちゃんばかりの集落といわれるけど元気いっぱいです。自然芋つなぎの手打ちそばと郷土料理を召し上がってください。	NPO法人 雪のふるさと安塚 TEL:025-592-2004
沼木の里のそばまつり	11月中旬 (未定)	安塚区朴の木田舎屋	水のきれいな里でのそばまつり。にじますや山菜料理も大好評です。田舎屋は、宿泊施設としても人気があります。	田舎屋 TEL:025-592-2300

12月



イベント・大会名	開催日時	会場	実施内容	問合せ先
雪だるま物産館創業祭	12月7日(日) (予定)	道の駅 雪だるま物産館	もちつき、地鶏300人分サービス「いいもの当たる抽選会」などを実施します。そのほか、かあちゃん達の手作り品がご愛顧に感謝して勢ぞろいします。	雪だるま物産館 TEL:025-595-1010
スキー場オープン感謝デー	12月13日(土) (予定)	雪だるま高原 キュービットバレイ	スキー場オープンを記念し、ご愛顧のお客様への感謝の気持ちとして、1日券千円や豚汁サービスなどを予定しています。	キュービットバレイ TEL:025-593-2041
討ち入りそば	12月15日(月) 前後	糸しんの里記念館	郷土料理とともに、板倉で採れたそばを味わっていただきます。	世話人 清水 俊昭 TEL:090-5543-6011
「上越の近代を拓いた先人たち」展	12月末から1月 末(予定)	小川未明文学館市 民ギャラリー(予定)	近代上越並びに日本に大きな足跡を残した当市出身の先人たちを顕彰します。 [内容]パネル及び関係資料の展示	上越市文化振興課 TEL:025-526-6903

シリーズ「上越市出身者のちよつといい店」

# 酒菜 「かんづくり」

行ってきました。埼京線の板橋駅、西口公園を左にまがり、道なりに信号のある通りへ。信号では右折。一番目の辻で左を見れば、突き当りが「越後の酒菜の店 寒作り」駅より徒歩四分

越後の名産「かんづり」をイメージして（スルはこの業界では禁句）開店以来三十八年。北城町出身、越後美人の大ママ、羽深綾子さんがお嬢さんと二人で大切に育ててきたお店です。

十人位の小座敷と六人のテーブル席が二つ。カウンターは七席ほど。こじんまりとしたわりに、ゆったり、おっとりしたたたずまいです。

お酒は勿論、越後のもの。ちなみに筆者は「影虎」を…。若い元気な板さんの

得意料理は聞き漏らしたけれど「白子のてんぷら」、「きんめの煮付け」、絶品だったナア…。

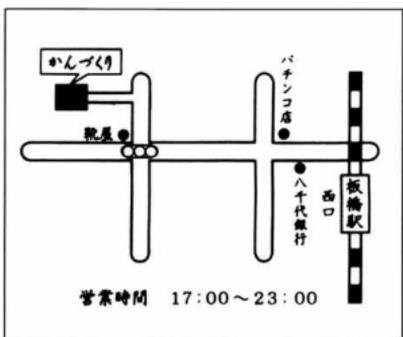
日曜・祭日はお休み。通常五時〜十一時まで。駅からは近いけれど、少しわかりにくい。迷子になりそうだったら、TELで道案内を。

(藤田香代 記)

住所 〒一七三―〇〇〇四

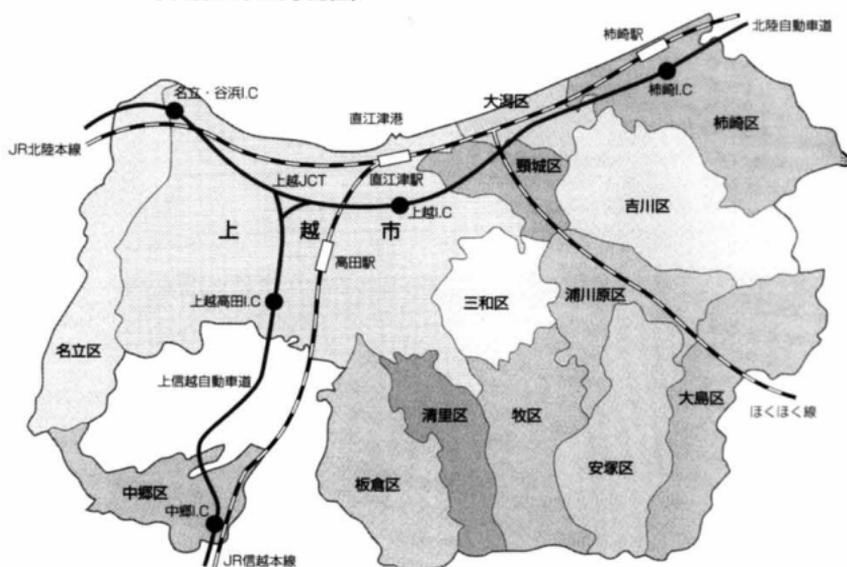
東京都板橋区板橋一―四九―九

電話 〇三―三九六四―五〇二三



## ☆全国30位の面積(973.32km<sup>2</sup>)を持つ上越市

(平成18年10月現在)



・平成19年版「全国市町村要覧」による

### 編集後記

大きな上越市が生まれてより、Jネットは大きなふる里を知ろうと、既に名立、牧、清里、板倉、柿崎、大淵、頸城区を訪問しました。遠くが存在がこんなに近かったんだと言うのが率直な感想です。私達の新しいふる里は、一層四季に恵まれました。

ふる里を遠くで思うばかりではなく、近くで見ませんか。  
きっと新しい発見があります。

会報25号は、1月の文化講演会・懇親会、4月のふる里交流会（観桜会）、5月の総会・懇親会、東京地区での勉強会を中心に、各地区の郷人会の活動報告などを取り入れました。

又多くの寄稿も頂きました。いつもながら「上越タイムズ」さんのご協力に感謝しております。編集には十分気を付けたつもりですが、誤字や落丁等がありましたら、ご容赦下さい。

面白く、読みやすい会報を目標にこれからも続けたいと思っております。  
皆さん、どうか気軽に投稿下さいませんか。思い出を語り、旧交を温める手助けをする場所にしたいものです。

温暖化のためか、この夏は猛暑が予想されます。  
みな様、ご自愛下さい。

Jネット運営委員 岡村博己



---

●発行

ふるさと上越ネットワーク事務局(上越市企画・地域振興部 企画政策課内)  
〒943-8601  
新潟県上越市木田1-1-3  
TEL.025-526-5111 FAX.025-526-8363  
E-mail: kyoudou@city.joetsu.lg.jp

運営委員会事務局

〒150-0011  
東京都渋谷区東1-26-30 渋谷イーストビル  
(株)社会システム研究所内  
TEL.03-3499-8299 FAX.03-3499-8299  
URL <http://www.joetsu.gr.jp/>

【皆様からの情報をお待ちしています】TEL.025-526-5111(Jネット事務局)

---